

# 倉敷埋蔵文化財 センター年報 14

—平成 23・24 年度—

倉敷埋蔵文化財センター

2013.11

## 序 文

本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成23年度と24年度に実施した、発掘調査事業ならびに教育普及事業について、その概要をまとめたものです。

発掘調査事業では、依然として続く不況の影響により全面発掘調査はありませんでしたが、平成24年度は開発に伴う届出件数は官民合わせて50件に達し、ここ10年では最も多い結果となりました。今後もこうした傾向が続くかどうかは不透明ですが、開発の内容に応じて適切な調査を実施していく所存です。また、平成17年度の合併以来、継続的に実施していた「真備・船穂地区」の分布調査が、平成21年度によく終了いたしました。今後は、その成果をいち早く活用するため遺跡地図の作成を行うとともに、インターネット経由で遺跡情報が閲覧できるよう、倉敷市統合型GIS等の利用も検討していく必要があると考えております。

教育普及事業では、センター年報13と倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第15集「朝原寺跡2・溝落遺跡」を刊行し、発掘調査やセンター事業の内容を広く市民の方に公開・周知いたしました。また、歴史や埋蔵文化財についての理解を深めていただくため、主催講座をはじめ出前講座やイベントなどを実施し、多くの方に参加していただきました。今後は文化財の大切さを理解する人材を育てるため、特に次代を担う子どもたちを対象とした各種体験講座を充実させていきたいと思っております。

本書が、埋蔵文化財保護行政の資料として広く活用されますとともに、多くの方に当センター事業に対する理解と認識を深めていただききっかけとなれば幸いに存じます。

最後になりましたが、各種事業の実施にあたりまして、ご指導ご協力を賜りました皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月30日

倉敷埋蔵文化財センター  
館長 鍵谷守秀

## 目 次

### ■平成23年度■

|                 |    |
|-----------------|----|
| I 組織            | 1  |
| II 事業の概要        | 1  |
| III 教育普及事業報告    | 4  |
| IV 調査事業報告       | 6  |
| 菅生小学校裏山遺跡確認調査報告 | 9  |
| V 寄贈図書一覧        | 10 |

### ■平成24年度■

|              |    |
|--------------|----|
| I 組織         | 19 |
| II 事業の概要     | 19 |
| III 教育普及事業報告 | 23 |
| IV 調査事業報告    | 27 |
| 寺谷遺跡確認調査報告   | 31 |
| 浜貝塚確認調査報告    | 32 |
| 広江・浜遺跡確認調査報告 | 33 |
| 下庄遺跡確認調査報告   | 34 |
| V 寄贈図書一覧     | 35 |

## 例 言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成23～24年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、健谷守秀・小野雅明・藤原好二・内田智美・杉浦美保・那須玲子が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

平成23(2011)年度

---

## I 組織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成23年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。



|           |      |       |
|-----------|------|-------|
| 文化財保護課    | 課長   | 福本 明  |
| 埋蔵文化財センター | 館長   | 鍵谷 守秀 |
| タ         | 主任   | 小野 雅明 |
| タ         | 主任   | 藤原 好二 |
| タ         | 副主任  | 綾野 早苗 |
| タ         | 嘱託職員 | 内田 智美 |
| タ         | タ    | 杉浦 美保 |
| タ         | タ    | 那須 玲子 |

(職名等は平成24年3月31日現在)

## II 事業の概要

### 1 調査事業

- (1) 事前協議 Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は307件と前年度比で14%増加している。開発指導要綱に基づく事前協議は1件である。産業廃棄物処分場の建設に係わる協議であったが、埋蔵文化財包蔵地には含まれなかった。
- (2) 発掘調査 平成23年度は確認調査1件、立会調査8件を実施した。確認調査は菅生小学校裏山遺跡において実施したが、明確な遺物は出土しておらず、遺構も確認されていない。立会調査は、公共事業に伴うものが6件、民間の開発に伴うものが2件である。浄化槽設置に伴って立会調査を行った上東遺跡では弥生土器片がわずかに確認されたが、遺構は検出されなかった。
- (3) 分布調査 真備町市場・箭田・尾崎の各地区に所在する計173遺跡について調査を行った。古墳の中には、岡山県教育委員会発行の遺跡地図に記載されているにもかかわらず、所在の確認できないものがあった反面、尾崎地区などでは新たな古墳を発見することもできた。これらの遺跡については台帳を作成後、パソコンに入力した。
- (4) 整理作業 次年度に報告書作成予定の溝落遺跡から出土した遺物について、整理・実測作業を実施した。また、下津井城跡(平成10年度調査)と新熊野山遺跡(平成22年度調査)から出土した鉄製品について、保存処理を実施した。

## 2 教育普及事業

(1) 主催講座等 春の遺跡見学会など、計14回の講座等を実施。延べ参加人数3,962人。

| 講座・イベント名                | 実施日       | 講座内容              | 参加人数   |
|-------------------------|-----------|-------------------|--------|
| 春の遺跡見学会⑩                | 5/15 (日)  | 足守川流域の遺跡を訪ねる      | 34人    |
| 古代の勾玉を作ろう①              | 7/30 (土)  | 高麗石を用いた勾玉作り       | 16人    |
| 古代の勾玉を作ろう②              | 7/31 (日)  | タ                 | 15人    |
| 古代の耳飾りを作ろう①             | 8/6 (土)   | 高麗石を用いた耳飾り作り      | 6人     |
| 古代の耳飾りを作ろう②             | 8/7 (日)   | タ                 | 6人     |
| ライフパークの集い               | 8/21 (日)  | ミニチュア土器等の発掘体験     | 2,655人 |
| 秋の考古学講座<br>「吉備の弥生時代を学ぶ」 | 10/2 (日)  | 弥生時代の吉備の集落        | 37人    |
| タ                       | 10/9 (日)  | 遺物からみた弥生社会        | 33人    |
| タ                       | 10/16 (日) | 楯築遺跡からみた吉備の弥生時代   | 35人    |
| とんぼ玉を作ってみよう①            | 11/27 (日) | ガラスを用いたとんぼ玉作り     | 20人    |
| とんぼ玉を作ってみよう②            | 12/4 (日)  | タ                 | 3人     |
| こどもまつり                  | 2/12 (日)  | トンボ玉ストラップ作り       | 1,080人 |
| 山城トレッキング                | 2/26 (日)  | 鷹山城を歩く            | 15人    |
| 古代の鏡を作ろう                | 3/4 (日)   | 低融点合金を用いたミニチュア鏡作り | 7人     |

(2) 出前講座等講師派遣 古代の土笛作り等、計6回の派遣。延べ参加人数372人。

| 派遣内容      | 開催日      | 依頼団体      | 参加人数 |
|-----------|----------|-----------|------|
| 古代の遺跡について | 4/14 (木) | 倉敷市立赤崎小学校 | 84人  |
| 博物館学実習    | 5/18 (水) | 倉敷芸術科学大学  | 50人  |
| 古代の土笛作り   | 8/9 (火)  | 島地西子ども会   | 36人  |
| タ         | 8/10 (水) | 水島公民館     | 24人  |
| ひさしやま学習①  | 11/8 (火) | 倉敷市立庄小学校  | 139人 |
| ひさしやま学習②  | 12/8 (金) | タ         | 39人  |

(3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報13

A4判 本文56P 600部 平成24年3月刊行

(4) 資料の貸出

|   | 貸出期間         | 資料名  | 貸出先        | 使用目的                             |
|---|--------------|--|------------|----------------------------------|
| 1 | 6月30日～7月5日   | 船倉貝塚出土<br>装身具類 6点<br>磯の森貝塚出土<br>装身具類 2点    | 中四国縄文研究会   | 第22回中四国縄文研究会<br>岡山大会にて展示         |
| 2 | 10月26日～11月6日 | 真備町箭田阿知境奥出土骨<br>蔵器に付隨する鉄板 7点               | (財) 倉敷考古館  | 古代遺跡出土鉄板の再考                      |
| 3 | 2月2日～5月9日    | 矢部堀越遺跡出土<br>特殊器台形埴輪 1点<br>矢部出土<br>竜形土製品 1点 | 香川県立ミュージアム | 企画展<br>岡山・香川文化交流展<br>「吉備と讃岐」にて展示 |

3 利用者数

展示・講座等を含めた平成23年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は16,183人で、昨年度比約17%の増となった。体験講座などを積極的に実施した成果が現れてきたものと考えられる。

〈平成23年度月別利用者数〉

| 月  | 大人     | 子ども    | 講座等  | 計       | 開館日数 | 1日平均利用者数 |
|----|--------|--------|------|---------|------|----------|
| 4  | 318    | 478    | 84   | 880     | 26   | 34       |
| 5  | 419    | 710    | 34   | 1,163   | 26   | 45       |
| 6  | 341    | 397    |      | 738     | 26   | 28       |
| 7  | 420    | 584    | 31   | 1,035   | 27   | 38       |
| 8  | 1,813  | 2,383  | 72   | 4,268   | 26   | 164      |
| 9  | 349    | 882    |      | 1,231   | 26   | 47       |
| 10 | 754    | 950    | 105  | 1,809   | 26   | 70       |
| 11 | 444    | 753    | 159  | 1,356   | 26   | 52       |
| 12 | 225    | 445    | 42   | 712     | 23   | 31       |
| 1  | 301    | 283    |      | 584     | 23   | 25       |
| 2  | 649    | 916    | 15   | 1,580   | 25   | 63       |
| 3  | 377    | 443    | 7    | 827     | 27   | 31       |
| 合計 | 6,410人 | 9,224人 | 549人 | 16,183人 | 307日 | 53人      |

### Ⅲ 教育普及事業報告

#### 1 春の遺跡見学会⑩

～足守川流域の遺跡を訪ねる～

日 時 平成23年5月15日(日)  
講 師 小野雅明(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 34人

岡山市西部、足守川流域の遺跡をめぐる見学会を開催した。午前中は高松城水攻めの史跡を訪ね、蛙ヶ鼻築堤遺跡、羽柴秀吉の本陣跡、備中高松城跡を見学し、戦国武将の間で繰り広げられた戦の展開をたどった。午後からは吉備の中山に向かい、尾上車山古墳、中山茶臼山古墳、石舟塚古墳群の順に回った後、最後に岡山県古代吉備文化財センターを見学した。



#### 2 考古学体験講座

～とんぼ玉を作つてみよう①・②～

日 時 平成23年11月27日(日)・12月4日(日)  
講 師 内田智美(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 小学5～6年生と保護者  
参加者 23人

バーナーでガラス棒を溶かし、鉄心に巻き取りながら玉にしたあと、1個目は縞模様、2個目は水玉模様を入れたとんぼ玉を各自制作した。玉が冷めるまでの時間を利用して麻紐を編み上げ、その紐を鉄心からはずしたとんぼ玉に通してストラップを完成させた。参加した子どもは皆初めての体験だったため、玉の形をきれいな丸にすることや模様を入れる作業が難しそうだったが、自分だけのオリジナルのとんぼ玉ができたことに満足していた。



#### 3 山城トレッキング

鶴山城を歩く－備中細川氏の居城跡－

日 時 平成24年2月26日(日)  
講 師 水田貴士(浅口市教育委員会)  
対 象 一般  
参加者 15人

浅口市の町屋公園に集合し、備中細川氏の菩提寺である長川寺で城主 細川通菴の墓塔にお参りした後に、城跡に向かった。あいにくの曇天ではあったが、城跡からの眺望はすばらしく、浅口市域をはじめ遠く四国までも見通すことができた。また、浅口市教育委員会の水田貴士氏の案内も丁寧で分かりやすく、受講者からは好評であった。



#### 4 秋の考古学講座

～吉備の弥生時代を学ぶ～

日 時 平成23年10月2・9・16日(日)  
講 師 第1回 草原孝典(岡山市教育委員会)  
「弥生時代の吉備の集落」  
第2回 平井典子(総社市教育委員会)  
「遺物からみた弥生社会」  
第3回 松木武彦(岡山大学大学院社会文化科学研究所)  
「埴塼遺跡からみた吉備の弥生時代」  
会 場 ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」  
対 象 一般  
参加者 105人(延べ人数)



今回は、弥生時代について、集落、遺物、そして墳墓という三つの側面から学ぶ講座を実施した。

第1回は草原孝典氏による講演で、岡山平野における集落遺跡の変遷から、狩猟採集民と農耕民との併存、そして前者の後者への同化を論じたものである。第2回は平井典子氏に、遺物から読み取れる吉備の社会についてお話をいただいた。石器や土器などから当時の信仰や戦争、さらに大和や九州との係わりを追求していく内容であった。第3回は松木武彦氏による埴塼遺跡に視点を置いた講演である。古墳の成立に吉備地域が大きな役割を演じたことがわかりやすく紹介された。最新の年代観に基づいた「埴塼遺跡は倭国王帥升の墓かもしれない」という発言に、受講生の関心が集まっていた。どの回も興味深い内容であり、受講者は大きな関心を持って聴講していた。



#### 5 考古学体験講座

～古代の鏡を作ろう～

日 時 平成24年3月4日(日)  
講 師 鎌谷守秀(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 小学5～6年生  
参加者 7人



市販のシリコン鑄型を使ってミニチュアの古代鏡を作る講座。まず、カセットコンロで熱し液体となった低融点合金を、一人ひとり慎重に鍋から鑄型に流し込む。少し冷ましてから鏡を取り出し、鏡面を3種類の耐水ペーパーで磨いていき、最後に金属磨きと柔らかい布で仕上げると、自分の顔がくっきり映るほどビカビカの古代鏡が完成する。

## IV 調査事業報告

平成23年度調査一覧表

| No. | 遺跡名       | 該当地    | 調査原因            | 区別 | 調査期間     | 調査結果    |
|-----|-----------|--------|-----------------|----|----------|---------|
| 1   | 鷺羽山遺跡     | 下津井田ノ浦 | 展望台周辺改修工事       | 立会 | 11.05.13 | 遺物・遺構なし |
| 2   | 六口鳥西の浜遺跡  | 下津井六口鳥 | 道路整備工事          | タ  | 11.06.14 | タ       |
| 3   | 菅生小学校裏山遺跡 | 西坂     | 住宅建設工事          | 確認 | 11.06.28 | 土器細片    |
| 4   | 真備町237遺跡  | 真備町市場  | 携帯電話無線基地局建設工事   | 立会 | 11.07.12 | 遺物・遺構なし |
| 5   | 上東遺跡      | 上東     | 下水設計のためのボーリング調査 | タ  | 11.09.21 | タ       |
| 6   | 上東遺跡      | 上東     | 浄化槽設置工事         | タ  | 11.10.19 | 弥生土器細片  |
| 7   | 才楽遺跡      | 日畑     | 道路改良工事          | タ  | 11.11.29 | 遺物・遺構なし |
| 8   | 平松城跡      | 下庄     | 水路改修工事          | タ  | 12.01.20 | タ       |
| 9   | 長尾神社南遺跡   | 玉島長尾   | 配水管改良工事         | タ  | 12.01.24 | タ       |



調査地点位置図 (S=1/100,000)

すこうじょうぎっこううらやま  
**菅生小学校裏山遺跡確認調査報告** (一覧表 No.3)

調査位置 西坂字ハッ表435番1

調査原因 住宅建設工事

調査面積 8m<sup>2</sup>

調査期間 11.06.28

調査担当 小野・藤原

**遺跡の概要** 菅生小学校裏山遺跡は、山陽自動車道倉敷インターチェンジ付近に所在する遺跡である。昭和60年にインターチェンジ建設に伴って発掘調査が行われ、旧石器時代から中世にかけての遺物・遺構が確認された。中でも古墳時代の遺物には朝鮮半島系軟質土器や陶質土器が含まれ、朝鮮半島との交流がうかがえる。また、古墳時代以後も大型建物の存在や銅印の出土など、地方豪族層や公的施設の存在をうかがわせる遺構・遺物が確認されている。この付近は中世まで海が入り込んだ入り江状の地形であり、遺跡から北へ水別岬を越えるとすぐに備中国分寺を望むことができる。また、北東方向に間近のところに「原津」の地名も確認できる。古墳時代から古代にかけて臨海性の重要拠点として機能していた遺跡と考えられる。

**調査の概要** 調査は開発予定区域内に2×2mの試掘坑2か所を設定し、地層の断面観察を中心に行なった。調査地は北側を用水路が流れ、東側の水田とは1m以上の高低差が認められる。

トレンチ1は住宅敷地北辺に近い浄化槽設置予定地のそばに設定した。近年まで水田として耕作されていたらしく、造成土の下には耕作土およびその床土があり、その下には厚く灰色土が堆積している。灰色土の下は粘質の強いかたくしまった褐灰色土が認められた。この褐灰色粘質土は湿地性の堆積層と考えられ、若干の湧水も認められる。いずれの層からも遺物・遺構は確認されなかった。

トレンチ2はトレンチ1の約20m南に設定した。土層の堆積状況はトレンチ1とはまったく異なる。耕作土およびその床土の下には薄く黄灰色砂質土層が堆積し、その下は明黄褐色粘質土層・オリーブ色砂混じり粘質土層と続く。黄灰色砂質土層以下はすべて自然堆積層と推定されるが、明黄褐色粘質土層はかたくしまった土であり、基盤層と考えられる。遺構としては水田耕作土から掘りこまれた新しい時期の溝が確認された。遺物としては黄灰色砂質土層で土器の細粒が検出されたが時期は不明である。

以上のように今回の調査では重要な遺構・遺物は確認されなかった。ただ、トレンチ1で湿地性の堆積層、トレンチ2で基盤層が検出されたことから、このあたりが菅生小学校裏山から続く丘陵の北辺部にあることが確認された。  
(藤原)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

## V 寄贈図書一覧 (2011.4.1 ~ 2012.3.31)

### 北海道

(財) 北海道埋蔵文化財センター  
札幌市埋蔵文化財センター  
函館市教育委員会

北海道立埋蔵文化財センター年報 12

平成 22 年度調査報告書

特別史跡五稜郭跡、特別史跡五稜郭跡復元整備事業報告書、特別史跡五稜郭跡復元整備事業報告書【図版編】

### 青森県

八戸市教育委員会

### 宮城県

多賀城市埋蔵文化財調査センター

掘り day はちのへ第 14 号

多賀城市内の遺跡 1・平成 20 年度発掘調査報告書ほか・、多賀城市内の遺跡 2・平成 21 年度発掘調査報告書・、山王遺跡・第 66・68 次発掘調査報告・、山王遺跡・第 71・77 次発掘調査報告・、多賀城市内の遺跡 1・平成 21 年度ほか発掘調査報告書・、多賀城市内の遺跡 2・平成 22 年度発掘調査報告書・、高崎古墳群ほか・、山王遺跡・第 87 次発掘調査報告・、高崎花の木地区試掘調査報告・

### 山形県

(財) 山形県埋蔵文化財センター  
米沢市教育委員会  
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科  
福島県

理文やまがた第 47 号・第 48 号

(財) 郡山市文化・学び振興公社

米沢市文化財年報 No.23、遺跡詳細分布調査報告書第 24 集

置賜地域の終末期古墳 4、飛鳥における考古学的調査、歴史遺産研究 No.6/2010

まるさんかくしかく 第 9 号～第 11 号、大安場史跡公園年報・平成 21 年度版・福島県中通りの前期古墳を考える

### 茨城県

(財) 茨城県教育財團  
土浦市立博物館  
筑波大学歴史・人類学専攻  
栃木県

埋蔵文化財部 年報 30

土浦市立博物館紀要 第 21 号

筑波大学 先史学・考古学研究第 22 号

やまかいどう 2010 年 11 月～2011 年 6 月、埋蔵文化財センター年報第 21 号、研究紀要第 19 号、栃木県埋蔵文化財保護行政年報 33、つながる北関東掘展、栃木県埋蔵文化財センターとき土器体験、吾妻古墳、下野国分尼寺跡、長沼城跡、千駄塚浅間遺跡、栗宮宮内遺跡、砂田姫沼遺跡、川戸釜八幡遺跡、田島持舟遺跡、四十八塚古墳群、寂光沢窪跡、吾妻古墳、四十八塚古墳群、寂光沢窪跡、田島持舟遺跡、東谷・中島地区遺跡群 II、川戸釜八幡遺跡・石仏遺跡、下野国分尼寺跡、長沼城跡、千駄塚浅間遺跡、栗宮宮内遺跡

### 埼玉県

(財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
吉見町埋蔵文化財センター  
熊谷市立江南文化財センター

埋文さいたま第 54 号、中道・中道下遺跡、斐沼・明戸東 II、前原・大沼町内遺跡 5

西別府祭祀遺跡 III

### 千葉県

市川市教育委員会

平成 12 ～18 年度 市川市内遺跡発掘調査報告、平成 16 ～20 年度 不特定遺跡発掘調査報告、鼻ヶ谷遺跡第 1 地点発掘調査報告書、山ノ跡遺跡第 10 地点発掘調査報告書

市原市教育委員会

発掘いちららの遺跡 No.4 特集 市原の王陵崎古墳群、市原市能満遺跡群天王辻田地区、市原市平野馬頭塚、市原市荒久遺跡 B・C 地点

国立歴史民俗博物館

国立歴史民俗博物館研究報告 第 161 集、第 163 集～第 169 集、第 171 集、国立歴史民俗博物館年報 6・7

### 東京都

宮内庁書陵部  
荒川区立荒川ふるさと文化館  
早稲田大学考古学会

書陵部紀要第 62 号、書陵部紀要第 62 号（陵墓篇）

諏訪台・日暮里延命院貝塚遺跡・西日暮里三丁目 2 番地點・

古代第 123 号～第 125 号

|  |  |
|--|--|
| 国学院大学文学部考古学研究室   | 本ノ木遺跡 2007年度発掘調査報告書、本ノ木遺跡・卯ノ木泥炭層遺跡 2008年度発掘調査報告書、穗高古墳群 2009年度埴丘測量調査・現状確認調査報告書、穗高古墳群 2010年度発掘調査報告書  |
| 青山学院大学文学部史学研究室<br>慶應義塾大学民族学考古学研究室  | 青山史学 第二十九号<br>日吉台遺跡群竪谷差区発掘調査報告書、会津善保村（松平）家屋敷跡遺跡  |
| 新潟県<br>新潟市文化財センター<br>弥彦村教育委員会<br>富山県<br>富山県埋蔵文化財センター   | 新潟市文化財センター<br>桶筒遺跡<br>裡文とやま vol.115～vol.117、とやまの貝塚   |
| 石川県<br>小松市埋蔵文化財センター<br>能登町教育委員会<br>長野県<br>(財)長野県埋蔵文化財センター  | 小松城跡発掘調査報告書、小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅶ<br>松波城跡庭園跡<br>長野県埋蔵文化財センター年報 25～26、主要地方道長野上田線力石バイパス建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書 1・2<br>史跡信濃國分寺跡、上田城跡（上田藩主居館跡）、市内遺跡、史跡上田城跡石垣基盤調査報告書、常人遺跡群 下町田遺跡Ⅳ、市内遺跡<br>出川南遺跡、駿軒遺跡<br>長野県立歴史館たより vol.70   |
| 上田市教育委員会<br>松本市教育委員会<br>長野県立歴史館<br>岐阜県<br>各務原市埋蔵文化財調査センター<br>(公財)岐阜市教育文化振興事業団<br>岐阜市教育委員会<br>静岡県<br>磐田市埋蔵文化財センター | かかみがはらの埋文第 19 号・第 20 号<br>岩田東 A・岩田西遺跡<br>上尻毛高田遺跡<br>市内遺跡確認調査報告書、勾板中下 4 遺跡、鍛田、鍊影遺跡、庚申塚古墳発掘調査報告書、特別史跡遠江国分寺跡<br>二本ヶ谷積石塚群  |
| 浜松市生活文化部<br>愛知県<br>新城市教育委員会<br>名古屋市見晴台考古資料館<br>豊田市郷土資料館<br>名古屋大学考古学研究室<br>三重県<br>津市埋蔵文化財センター                     | 市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ、岩座神社遺跡発掘調査報告書、杉山遺跡発掘調査報告書<br>名古屋市見晴台考古資料館年報 28、堀越可遺跡、玉ノ井遺跡第 7 次発掘調査報告書、尾張元興寺跡発掘調査報告書、御器所西城発掘調査報告書、伊勢山中学校遺跡、NN319 号窯群発掘調査報告書、大高遺跡発掘調査報告書、名古屋城三の丸、埋蔵文化財調査報告書 62～64<br>豊田市郷土資料館たより No.76～78、平成 21 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書、上万場遺跡、水汲遺跡<br>名古屋大学文学部研究論集 170   |
| 松阪市教育委員会<br>鈴鹿市考古博物館<br>鈴鹿市遺跡調査会<br>亀山市文化部<br>滋賀県<br>(財)滋賀県文化財保護協会   | 中鳩遺跡（第 3・4 次）発掘調査報告、平成 20 年度市内遺跡発掘・確認調査報告、津城跡発掘調査報告、平成 21 年度市内遺跡発掘・確認調査報告、津市文化財年報 4・平成 20 年度、山ノ下古墳群 B 支群（第 3 次）発掘調査報告、まいぶん津 第 6 号～第 9 号<br>村竹コノ遺跡発掘調査報告（第 5 次）、平成 22 年度年報<br>鈴鹿市考古博物館年報第 11 号～第 12 号<br>津賀平遺跡、赤郷遺跡発掘調査報告書<br>亀山城西之丸外堀跡、崩が土器土器、三重県亀山市遺跡地区、近畿自動車道名古屋神戸線 1 路線発掘調査報告書 I～III<br>おうみ文化財通信 Vol.7～Vol.10 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| (財) 栗東市文化体育振興事業団      | 下鈎東遺跡発掘調査報告書、岡遺跡発掘調査報告書、小野遺跡発掘調査報告書、林遺跡発掘調査報告書、下鈎遺跡発掘調査報告書、栗東市の古墳 1、はくつ 2010、吉埴時代の琴、栗東市埋蔵文化財調査報告書 2009（平成 21）年度年報、中沢遺跡発掘調査報告書、手原遺跡発掘調査報告書、靈仙寺遺跡発掘調査報告書、中沢遺跡発掘調査報告書、高野・岩畠遺跡発掘調査報告書、下鈎東遺跡発掘調査報告書、手原遺跡発掘調査報告書、霧仙寺遺跡発掘調査報告書 |
| (財) 栗東市体育協会           | 純遺跡発掘調査報告書、靈仙寺遺跡発掘調査報告書、下鈎遺跡発掘調査報告書、小野遺跡発掘調査報告書   |
| 東近江市埋蔵文化財センター         | 東近江市の遺跡、五個荘地区的遺跡探査、瀬生地区的遺跡探査、愛東地区的遺跡探査、瀬東地区的遺跡探査、水源寺地区の遺跡探査、後藤館跡、勝堂古墳群、木村古墳群、法堂寺魔寺跡、神都鬼塚古墳、正楽寺遺跡、百濟寺境内、大森城跡、布引丘陵の須恵器生産、能登川石田遺跡、平成 22 年度市内遺跡の調査、芝原南遺跡、八日市壺焼谷遺跡、金貝遺跡、中沢遺跡（20・21 次）  |
| 滋賀県教育委員会              | 七条浦遺跡、志那湖底遺跡、金剛寺遺跡、金剛寺遺跡、後川遺跡、下川原遺跡、横木原遺跡 IV、長福寺遺跡、日置前遺跡、針氏城遺跡 2、岩瀬谷古墳群   |
| 大津市教育委員会              | 滋賀県遺跡発掘調査報告書 II、閔津遺跡発掘調査報告書、穴太遺跡（南菊ノ尾地区）発掘調査報告書、南滋賀遺跡発掘調査報告書 II、穴太遺跡（南川原地区）発掘調査報告書、大津市埋蔵文化財調査年報・平成 21（2009）年度。  |
| 米原市教育委員会              | 佐加太第 34 号   |
| 野洲市教育委員会              | 平成 22 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、平成 23 年度野洲市内遺跡発掘調査年報  |
| 守山市教育委員会              | 立入荒牧遺跡発掘調査報告書   |
| 竜王町教育委員会              | 竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成 20 年度、平成 21 年度、竜王町の歴史めぐり 雪野寺跡、竜王町の遺跡めぐり 17. 犬戸遺跡   |
| 滋賀県立安土城考古博物館          | おおてみち第 75 号～第 78 号  |
| 大津市歴史博物館              | 大津歴博だより No.84   |
| 滋賀県立大学人間文化学部          | 人間文化第 28 号～第 29 号   |
| 京都府                   | 平安京左京八条三坊九町跡、法住寺殿跡、六波羅政厅跡、方広寺跡、大蔵遺跡、大蔵城跡、法性寺跡、灰方窑跡、灰方の堀跡、南春日町片山遺跡、勝持寺旧境内、史跡旧二条殿宮（二条城）、長岡京跡、淀城跡、史跡賀茂御祖神社境内、常盤仲之町遺跡、常盤東ノ町古墳群、長岡京跡、羽束東遺跡、長岡京跡、淀城跡、大藏遺跡、法性寺跡、平安京右京五条三坊六町跡、昭和 32 年度京都市埋蔵文化財調査概要、昭和 55 年度京都市埋蔵文化財調査概要         |
| (財) 京都市埋蔵文化財研究所       | 年報 都城 23  |
| (公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター | 京都府埋蔵文化財情報第 114 号、第 116 号   |
| 綾部市教育委員会              | 平成 18 年度以久田野古墳群発掘調査報告、平成 18 年度久田山古墳群 B 支群発掘調査報告、久田山古墳群 B 支群発掘調査報告 重構図版編   |
| 京都府教育庁                | 京都府埋蔵文化財調査報告書（平成 22 年度）   |
| 京田辺市教育委員会             | 南山遺跡発掘調査報告書   |
| 京都市文化芸術都市推進室          | 京都市内遺跡発掘調査報告 平成 22 年度、京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成 22 年度、京都市内遺跡発掘調査報告 平成 22 年度   |
| 京都橘大学                 | 京都橘大学 文化財調査報告 2010  |
| 大阪府                   | 平成 22 年度（財）八尾市文化財調査研究会事業報告、萱振遺跡第 26 次、第 27 次調査、楓松遺跡、大竹遺跡、水越遺跡、八尾南遺跡、恩地遺跡、木の本遺跡、久宝寺遺跡、郡川遺跡、成法寺遺跡ほか、勝部遺跡、郡川遺跡、小阪合遺跡、成法寺遺跡、東郷遺跡ほか  |
| (財) 八尾市文化財調査研究会       | 安満遺跡、平成 22 年度確認調査速報、鳴山遺跡群 35  |
| 高槻市立埋蔵文化財調査センター       | 豊中市教育委員会  |
| 豊中市教育委員会              | 豊中市埋蔵文化財発掘調査概要、平成 23 年度（2011 年度）-、曾根遺跡第 1 次   |

|               |  |
|---------------|--|
| 枚方市教育委員会      | 発掘調査報告書<br>特別史跡百濟寺跡 平成 22 年度確認調査概要、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要<br>2010  |
| 東大阪市教育委員会     | 東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告・平成 22 年度・、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要報告・平成 22 年度・、春日神社本殿修理工事報告書<br>古市遺跡群 X X X II 、羽曳野市内遺跡調査報告書・平成 19 年度・<br>平成 22 年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書   |
| 羽曳野市教育委員会     | 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第 66 号、湊遺跡・食野家邸宅跡、平成 22 年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要   |
| 富田林市教育委員会     | 泉南市遺跡群発掘調査報告書 X X VI   |
| 泉佐野市教育委員会     | 平成 22 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要<br>池田市埋蔵文化財発掘調査概要 2010 年度<br>平成 22 年度発掘調査概要   |
| 泉南市教育委員会      | 清瀧街道発掘調査報告書<br>鳥帽子形城跡総合調査報告書   |
| 交野市教育委員会      | 博物館だより・アスカディア・古墳の森 vol34 ~ vol35 、館報 14 、倭人と文字<br>の出会い、百舌鳥・古市の陵墓古墳・歴史発掘おおさか 2011   |
| 池田市教育委員会      | 博物館だより No.45 ~ No.49 、吹田市立博物館 鮎報 10 ~ 鮎報 11 、平成 22 (2010)<br>年度埋蔵文化財緊急発掘調査概要、吉志部瓦窯跡・出土瓦整理報告書・園版編、<br>新金山公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書 2  |
| 茨木市教育委員会      | 古代狹山池と台地開発のはじまり、大阪府立狹山池博物館研究報告 7<br>なにわ歴博カレンダー No.41 、大阪歴史博物館年報 平成 22 年度   |
| 四條畷市教育委員会     | 今城塚古代歴史館常設展示図録、発掘された高槻・平成 20 ・ 21 ・ 22 年度発掘調<br>査報表・   |
| 河内長野市教育委員会    | 長尾山古墳第 6 次・第 7 次発掘調査概要<br>大阪大学埋蔵文化財調査室年報 2   |
| 大阪府立近つ飛鳥博物館   | 文化財研究第 11 号、志学台考古第 11 号  |
| 吹田市立博物館       | 姫路城城下町跡<br>たるみの遺跡、和田岬砦の源流を探る、品川砲台場築造から和田岬砦へ、神<br>戸市埋蔵文化財分布図、精・荒田町遺跡第 42 、 43 、 46 次発掘調査報告書、兵<br>庫津遺跡第 52 次発掘調査報告書・西岡本遺跡第 8 次発掘調査報告書・上池遺<br>跡第 3 次発掘調査報告書・雲井遺跡第 33 次発掘調査報告書・平成 20 年度 神戸<br>市埋蔵文化財年報、兵庫津遺跡・第 51 次発掘調査報告書・、出合遺跡第 34 、<br>35 、 37 、 39 、 40 、 43 、 44 次埋蔵文化財発掘調査報告書・、頭高山遺跡発掘調<br>査報告書・、郡部家遺跡第 85 次発掘調査報告書・、旧神戸外国人居留地発掘調査報告書<br>有岡城跡発掘調査報告書 X V |
| 大阪府立狭山池博物館    | 加西・鶴野飛行場（旧海軍航空隊基地）、野条庵寺跡、鶴野飛行場関係歴史<br>遺産   |
| 大阪歴史博物館       | 姫路山古墳群・塚山古墳群・周世宮義山古墳群測量調査報告書   |
| 高槻市立今城塚古代歴史館  | 尼崎市埋蔵文化財遺跡分布地図及び手引き・平成 23 年版・、尼崎市内遺跡 発<br>掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成 17 年度   |
| 大阪府立近づ飛鳥博物館   | 平之莊神社の種子板碑、広尾西墓地の弥陀三尊種子板碑、常楽寺の宝塔と五輪<br>塔、報恩寺の十三重塔、文化財ニュース No.54 、石守磨寺発掘調査概要報告書<br>史跡多田院発掘調査報告書・平成 21 年度川西市発掘調査報告<br>埋蔵文化財包蔵地分布地図及び手引き、竜山古墳群  |
| 大阪府立狭山池博物館    | 平成 22 年度埋蔵文化財調査年報  |
| 大阪府立吹田市立博物館   | 平成 21 年度埋蔵文化財調査年報、昭和 63 年度埋蔵文化財調査年報<br>神戸市立博物館年報 No.26 、研究紀要第 27 号   |
| 大阪府立高槻市立歴史博物館 | 赤穂の指定文化財   |

|  |   |
|--|---|
| 兵庫県立考古博物館  | ひょうごの遺跡第79号～第82号、おおむかしえほん おなかいっぽい、兵庫県立考古博物館NEWS vol.8～vol.9、平成20年度 埋蔵文化財調査年報、河原・溝ノ越遺跡、吉田住吉山遺跡群、田ノ口遺跡、神出廬跡群Ⅲ、市之郷遺跡Ⅱ、山野里宿遺跡、坂元遺跡Ⅲ、豆腐町遺跡Ⅱ、天王山古墳群・天王山窓跡群・鳥飼中瀬遺跡・北山遺跡・白池遺跡・隅田遺跡・竹ノ鼻遺跡・門前遺跡・山谷墳墓群・西鷹丸山2号墳・貝原ナマズ遺跡・南塙田遺跡・今宿遺跡・北田原・南田原条理遺構発掘調査報告書・平野遺跡・鳥居城跡・沖代遺跡・吉田西向遺跡・東沢古墳群・東沢中遺跡・西宮神社社頭遺跡・明石城式家屋敷跡Ⅲ・田中・蓼原遺跡・清水・山城遺跡  |
| 奈良県<br>桜井市立埋蔵文化財センター   | 50cm下の桜井、經向考古学通信 Vol.3、ヤマトの王と居館、史跡茅原大墓古墳、祈りの世界・遺物に込められた先人たちの願い・、桜井市内遺跡発掘調査報告書・2010年度・<br>埋蔵文化財ニュース No.142～No.145<br>宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2009年度、鳥見山遺跡群発掘調査概要報告書、源城跡第2次～4次発掘調査報告書<br>田原本町文化財調査年報 19～20、弥生エッセンス～その技と美～<br>ふる里の文化財をたずねて<br>庭鳩町内遺跡発掘調査概要 平成20年度（2008）、庭鳩町内遺跡発掘調査概要 平成8～9年度（1996～1997）、庭鳩町内遺跡発掘調査概要 平成5～7年度（1993～1995）<br>消えた古墳<br>元興寺文化財研究所研究報告 2009・2010<br>帝塚山大学考古学研究所研究報告書Ⅷ、帝塚山大学考古学研究所研究報告XⅡ<br>天理大学附属天理参考館 80年のあゆみ、天理参考館報第24号<br>古事記第14冊・第15冊、下ガラリヤの3,000年・イスラエル・レヘシュ遺跡の発掘調査・                                       |
| 和歌山県<br>(財) 和歌山県文化財センター  | 地宝のひびき-和歌山県内文化財調査報告会・発表要旨集、公開シンポジウム「自然災害と考古学」・発掘調査から防災を考える・発表資料集、近畿自動車道南伸に伴う発掘調査の成果<br>川辺遺跡第10・11・12・13次発掘調査報告書<br>平成22年度有田川町埋蔵文化財調査年報  |
| (財) 和歌山市都市整備公社<br>有田川町教育委員会<br>鳥取県<br>(財) 米子市教育文化事業団<br>(財) 鳥取市文化財団<br>鳥取県埋蔵文化センター | 埋蔵文化財調査年報12、大谷遺跡・日久美遺跡（第16次～18次調査）<br>文化財ニュースレター 第2号～第3号、鳥取城跡柄蔵跡（第20次調査）<br>旧石器・縄文時代 息みとくらし、青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告6 金属器、<br>青谷上寺地遺跡景観復原調査研究報告、青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告7<br>骨角器（2）、青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2010、自然への備えと挑戦・青<br>谷上寺地遺跡の土木技術と現在・、青谷上寺地遺跡フォーラム2011 弥生・骨<br>角器サミット、殿河内定屋ノ前遺跡、松河原上奥田第2遺跡・下市前堀地遺跡、<br>下市前堀地ノ峯東通第3遺跡、小竹上磨ノ尾遺跡<br>白市遺跡発掘調査報告書、倉吉市内遺跡分布調査報告書16、西平遺跡発掘調査<br>報告書、伯耆国府間連遺跡 古神宮地区第3次発掘調査報告書<br>米子市内遺跡発掘調査報告書<br>大塚根遺跡・古御堂遺跡・文殊領屋敷遺跡、町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ、大<br>山町内遺跡発掘調査報告書、大山僧坊跡調査報告書<br>上野遺跡I・奈免羅・西の前遺跡Ⅲ<br>平成21・22年度町内遺跡発掘調査報告書<br>普段守古墳群Ⅲ |

|   |  |
|---|--|
| 鳥取県立むきばんだ史跡公園   | 妻木晚田遺跡発掘調査研究年報 2010、妻木晚田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書 - 第 20・21・23 次調査 - 、国史跡妻木晚田遺跡整備事業報告書 2005 - 2012  |
| 島根県<br>島根県埋蔵文化財調査センター   | 史跡出雲国府跡 - 7 - 、埋蔵文化財調査センター年報 19、高浜 I 遺跡、ミキ土器まいぶん No.52 ~ No.53、山持遺跡 Vol.8、下古志遺跡（第 3 次調査）   |
| 島根県古代文化センター<br>(財) 松江市教育文化振興事業団   | 平塚逐一古代瓦コレクション資料集 (2) - 武藏國分寺関連字瓦・鎧瓦補遺 - 千条条件製造跡発掘調査報告書、出雲國分寺跡発掘調査報告書、上講武清水遺跡・上講武大石遺跡、埋蔵文化財調査年報 (14) 平成 21 年度、キヨロジ遺跡発掘調査報告書   |
| 安来市教育委員会<br>浜田市教育委員会<br>出雲市役所   | 本郷上口遺跡、カジズタ古墳、安来市内連跡調査報告書 1<br>島根県浜田市連跡施団目（三隅自治区）・史跡石見圓分寺跡（塔東側の確認調査）<br>史跡田儀櫻井家 たら製鐵遺跡総合ガイドブック、高岡 II 遺跡、平成 22 年度<br>出雲市文化財調査報告書、史跡西谷墳墓群整備事業報告書、出雲弥生の森博物館研究紀要第 1 集<br>史跡山陰道（野坂峠越・徳城峠越）保存管理計画書、津和野城下町連跡 3 森村地区 I、津和野藩主角井家墓所、名勝旧堀氏庭園主屋等保存修理工事報告書<br>八雲立つ風土記の丘 No.205 ~ No.207<br>島根大学ミュージアム年報 平成 22 年度  |
| 津和野町教育委員会   | 所報告備第 50 号～第 51 号、美作国府跡・小田中連跡・山北連跡、八故古墳群、二本木連跡・小塚の谷古墳・宇屋連跡・宇屋古墳・田尻連跡・山津田連跡、田益田中連跡 2、高岡連跡 2、金山屋敷連跡、崖木連跡・南溝手連跡・北溝手連跡、南方連跡  |
| 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館<br>島根大学ミュージアム  | 津山城だより No.15、津山弥生の里第 18 号<br>岡山市埋蔵文化財センター年報 10、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第 3 号、中島連跡、岩倉連跡、津島江道（船食棟・南棟校舎）遺跡、史跡賞田庵寺跡環境整備事業報告書、発掘されたアクセサリー   |
| 岡山県<br>岡山県古代吉備文化財センター   | 井原市文化財センター「古代まほろば館」年報 2、第 13 回雪舟サミット記録集<br>岡山県埋蔵文化財報告 41<br>備前市教育委員会<br>総社市教育委員会   |
| 津山弥生の里文化財センター<br>岡山市埋蔵文化財センター   | 備前と茶陶～茶道の視点 考古学の視点～<br>眺った天空の城 鬼ノ城、発掘！總社駅南地区、鬼城山 国指定史跡鬼城山環境整備事業報告、そう じやの文化財、総社市埋蔵文化財調査年報 20、発掘！總社駅南地区、長良小田中連跡  |
| 井原市文化財センター<br>岡山県教育委員会<br>備前市教育委員会<br>総社市教育委員会                            | 大旦連跡・金屋 1 号墳<br>鬼山古墳群<br>津山松平藩町奉行日記 十九、津博 No.68 ~ No.70<br>美術館ニュース No.92 ~ No.93・No.95 ~ No.96<br>岡山びと第 4 号～第 5 号、菓子木型・和のかたち<br>岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.46 ~ No.47、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2010<br>高梁川を科学する Part1、高梁川・流域を科学する Part2 - 、半田山牛砕台跡発掘調査概報、佐山新池廢跡群第 1 次発掘調査概報<br>岡山理科大学紀要 第 46 号 A 自然科学、自然科学研究所研究報告第 36 号、岡山理科大学紀要 第 47 号 A 自然科学、岡山理科大学紀要 第 47 号 B 人文・社会科学 |
| 岡山理科大学 人類学研究室   | 高梁川を科学する Part1、高梁川・流域を科学する Part2 - 、半田山牛砕台跡発掘調査概報、佐山新池廢跡群第 1 次発掘調査概報<br>岡山理科大学紀要 第 46 号 A 自然科学、自然科学研究所研究報告第 36 号、岡山理科大学紀要 第 47 号 A 自然科学、岡山理科大学紀要 第 47 号 B 人文・社会科学  |
| 岡山理科大学 図書館  | くらしき作陽大学<br>岡山市立オリエント美術館<br>倉敷市文書館（アーカイブス）研究会<br>岡山県遺跡保護調査団事務局<br>高梁川流域連盟  |
| くらしき作陽大学<br>岡山市立オリエント美術館<br>倉敷市文書館（アーカイブス）研究会<br>岡山県遺跡保護調査団事務局<br>高梁川流域連盟 | くらしき作陽大学博物館実習報告第 6 号<br>岡山市立オリエント美術館研究紀要 25<br>倉敷の歴史・倉敷市史紀要 - 第 21 号<br>調査團ニュース 37 号～ 39 号<br>高梁川 69   |

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>広島県</b>          |   |
| (財) 広島県教育事業団        | ひろしまの遺跡第 106 号、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (17)、国道 313 号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (1)、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (18) ~ (22)                               |
| 広島県教育委員会            | 平成 21 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書   |
| 府中市教育委員会            | 前原遺跡、府中市内遺跡 14 ~ 15、備後國府発掘 - 府中のまちを探る -   |
| 三次市教育委員会            | 鳥ヶ崎遺跡   |
| 福山市教育委員会            | 福山市内遺跡発掘調査概要 V、福山市文化財年報 39、福山城跡、泉山城跡、尾ノ上古墳、合ノ坪古墳、福山城跡   |
| 庄原市教育委員会            | 庄原市文化財年報 4、常納原遺跡  |
| 尾道市教育委員会            | 尾道市内遺跡、尾道市歴史文化基本構想、尾道の歴史と遺跡 中世編、尾道市内遺跡  |
| 広島県立歴史博物館           | 広島県立歴史博物館ニュース第 87 号～第 90 号  |
| 広島県立歴史民俗資料館         | 年報 第 30 号・平成 22 年度 - 、研究紀要第 8 集   |
| 広島大学文学部考古学研究室       | 千人塚古墳、帝釈峠遺跡群発掘調査年報 X X V 、舞鶴市千歳下遺跡発掘調査報告書   |
| 広島大学環境保全委員会埋蔵文化財調査室 | 広島大学埋蔵文化財調査室調査研究紀要 第 2 号  |
| <b>山口県</b>          |   |
| 山口県埋蔵文化財センター        | 陶けん第 24 号、東禅寺・黒山遺跡 VI 、奥ノ坊遺跡、古大里遺跡、田ノ浦遺跡 II 、延行条理遺跡、勝山御殿跡   |
| 下関市教育委員会            | 下関市立考古博物館年報 16 、研究紀要第 15 号、弥生時代の拠点集落  |
| 下関市立考古博物館           | MUSEUM LETTER 2011 No.6 、長門國府跡 人骨編、研究紀要第 6 号  |
| 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム    | 史跡萩城跡 時打矢倉跡、史跡萩城跡（外堀）   |
| 萩市歴史まちづくり部          |   |
| <b>徳島県</b>          |   |
| (財) 徳島県埋蔵文化財センター    | 真朱第 9 号、東州津遺跡、徳島県埋蔵文化財センター年報 vol.21 、庄（庄・藏本）遺跡、宮ノ木遺跡 II 、延命遺跡（ I ）、觀音寺遺跡 III （遺構・重物篇）、觀音寺遺跡 II （pdf 版）、徳島市埋蔵文化財発掘調査概要 20                                      |
| <b>香川県</b>          |   |
| 香川県埋蔵文化財センター        | 香川県埋蔵文化財センター年報 平成 22 年度、讃岐国府跡探索事業 平成 21 ～ 22 年度 地形・地名調査報告、平成 22 年度 香川県内遺跡発掘調査 譲岐国府跡発掘調査概報、古からのメッセージ さぬき歴史教室 第 6 部～第 8 部、西白方瓦谷遺跡、鹿伏・中所遺跡 IV 、多肥北原遺跡            |
| 香川県教育委員会            | 白峯寺、香川県「歴史の道」整備活用総合計画報告書第 1 集、香川県文化財年報 平成 21 年度   |
| 高松市教育委員会            | 奥の坊遺跡群 IV （奥の坊遺跡群 VI 区）、空港跡地遺跡、中林遺跡、高松市内遺跡発掘調査概報・平成 22 年度国庫補助事業 - 、二番丁小学校遺跡   |
| さぬき市教育委員会           | さぬき市内遺跡発掘調査報告書  |
| 三豊市教育委員会            | 石舟 1 号墳・石舟 2 号墳・宮山塗跡  |
| 香川県立ミュージアム          | 香川県立ミュージアムニュース vol.13 ~ vol.16 、企画展示解説シート vol.49  |
| <b>愛媛県</b>          |   |
| (財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター  | 愛比充 - 平成 22 年度年報 - 、板島城跡、岩倉城跡 1 ～ 3 次、中津倉城跡、道後今市遺跡 15 次、北井門遺跡 4 次調査、池田遺跡  |
| (財) 松山市生涯学習振興財團     | 東本遺跡 - 9 次・ 10 次調査 - 、小坂遺跡 - 1 次～ 6 次調査 - 、中村松田遺跡 - 5 、 6 次調査 - 、松山市埋蔵文化財調査年報 22 、樽味立派遺跡 4 次調査、樽味高木遺跡 15 次調査、久米窪田古窯敷遺跡  |
| 今治市教育委員会            | 松木広田遺跡 - 第 5 、 6 、 7 次調査 - 伊予国分寺跡 - 第 5 次調査 - 豊中屋遺跡 - 他、市内遺跡試掘確認調査報告書 X X X I 、市内遺跡試掘確認調査報告書 X X X II 、史跡 鹿島城跡 - 平成 21 、 22 年度郭 I 、郭 IV 、郭 V 、南部平坦地下海岸調査報告書 - |

|   |  |
|---|--|
| 松山市教育委員会  | 星岡登立遺跡 2 次調査・星岡遺跡 2 次調査、南久米沖台 b 遺跡・廐子新畑遺跡<br>中ノ子 1 遺跡・下刈屋遺跡・久米高畠遺跡・38 次・39 次・43 次・46 次調査・、<br>久米高畠遺跡・69 次・71 次・73 次調査・   |
| 鬼北町教育委員会  | もう一つの弥生文化・四国西南・愛媛県鬼北町興野々寺山遺跡をめぐって・、<br>明星ヶ丘・井谷家における日吉の文化   |
| 高知県<br>(財) 高知県文化財団                                | 20 年の歩み、高知県埋蔵文化財センター年報第 20 号、上ノ村遺跡 II 、折年遺跡 I 、<br>徳王子前鳥遺跡・竹林寺跡・花宴遺跡・西野々遺跡 II 、西野々遺跡 II<br>棚文こうち第 25 号・高知県埋蔵文化財年報 9 、史跡高知城跡<br>高知県立歴史民俗資料館年報 No.19 ~ No.20 、岡農風日第 75 号 ~ 第 76 号<br>河原田遺跡<br>北地遺跡・曾我遺跡・寺尾遺跡   |
| 高知県教育委員会<br>高知県立歴史民俗資料館<br>安芸市歴史民俗資料館<br>香南市教育委員会 |  |
| 福岡県<br>福岡市埋蔵文化財センター<br>小郡市埋蔵文化財調査センター             | 福岡市埋蔵文化財センター年報第 29 号<br>三沢北中島遺跡 4 地点・小板井運輸遺跡 2 、小板井屋敷遺跡 2 、干渴下鶴遺跡 2 、<br>小郡遺跡 14 、15 、16 、17 、大崎後原遺跡 2 、小郡前伏佐遺跡 2 、干渴東畠遺跡・上<br>岩田遺跡 III  |
| 久留米市埋蔵文化財センター                                     | 筑後国府通 vol.8 、筑後国府跡・堀原侍堀城遺跡・第 14 次調査・、筑後国府<br>跡・第 239 次調査報告・、久留米城外郭遺跡・第 15 次発掘調査報告・、二本木<br>遺跡・第 27 次調査・、久留米市埋蔵文化財調査集報 X II 、久留米市指定文化財<br>坂本第二郎生家保存修理工事報告書・、二本木遺跡群Ⅲ、平成 22 年度久留米市内<br>遺跡群・筑後国府跡・平成 22 年度発掘調査報告・、筑後国三瀧郡衙跡 VI<br>研究紀要・第 25 号・、長野尾登遺跡第 2 点 N 区・第 4 地点 D 区、埋蔵文化財<br>調査年報 27 、長浜遺跡・長浜遺跡第 3 地点・石田遺跡第 2 地点・小倉城三ノ<br>丸跡第 9 地点・大手町遺跡第 9 地点・長野尾倉遺跡第 2 地点・肆遺跡第 5 次調<br>査 1 区・小倉城三ノ丸跡第 6 地点 4 、高槻遺跡第 13 地点・山本遺跡・伊崎遺跡<br>第 2 地点 5 区・長野小西田遺跡 4 、長野尾登遺跡第 2 地点 (M3 · M5 区) 、長野<br>尾登遺跡第 2 地点 N2 区) 、重留遺跡第 8 ~ 15 地点・長野コイトヲ遺跡 3 、城野<br>遺跡 1 、小倉城三ノ丸跡第 5 地点・肆遺跡第 4 次調査・店屋遺跡・山田遺跡 2 、<br>小倉城三ノ丸跡第 8 地点 |
| (財) 北九州市芸術文化振興財團                                  | 考古資料からたどる日韓交流・元岡・桑原遺跡群 18 、井尻 B 遺跡 19 、板付 11 、<br>飯石古墳群 3 ・女原古墳群 1 、今宿五郎江 9 ~ 10 、大塚遺跡 4 、上月要 4 、五十<br>川遺跡 7 、坂堤 2 、雞飼脛遺跡 7 、山王 5 、千里、田村 17 ~ 18 、席田吉木遺跡 7 、<br>那珂 58 、中村町遺跡 3 、名子遺跡 1 、博多 141 ~ 143 、箱崎 42 ~ 43 、原遺跡 13 、<br>比恵 60 ~ 62 、弥原原 7 、福岡市埋蔵文化財年報 vol.24   |
| 福岡市教育委員会  | 大野城市的文化財 第 43 集 大野城市の遺跡①乙金編、櫻町遺跡 I 、垂穂遺跡 II 、<br>川原遺跡 II 、石勺遺跡 V 、乙金地区遺跡群 3  |
| 大野城市教育委員会   | 阿志岐城跡 II   |
| 筑紫野市教育委員会<br>春日市教育委員会<br>豊前市教育委員会<br>朝倉市教育委員会     | 川久保 B 遺跡・比恵尻遺跡・須玖岡本遺跡 4 、平若 A 遺跡<br>久路上鍬削田遺跡・久路土芝掛遺跡・久路土高松遺跡<br>朝倉市内遺跡等分布調査報告書・黒川院 1 、上城原古墳群・平塚大願寺遺跡 II 、<br>朝倉市文化財年報 ( 平成 20 年度 ) 、朝倉市文化財年報 ( 平成 21 年度 ) 、旧田代<br>家住宅  |
| 糸島市教育委員会  | 伊都国歴史博物館紀要第 5 号 ~ 第 6 号・伊都国歴史博物館年報 5 · 平成 20 年度 · 、<br>伊都国歴史博物館年報 6 · 平成 21 年度 · 、原田大六 伊都國にロマンを求める男、<br>三雲・井原遺跡 VI 、測遺跡群 I 、吉森遺跡 I 、森田遺跡・大坪遺跡 II 、新町・<br>御床松原遺跡・石崎矢風遺跡・吉井地区遺跡群 II 、吉井地区遺跡群 II  |
| 北九州市立自然史・歴史博物館<br>九州歴史資料館                         | 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 8 号<br>九歴より No.34 、九州歴史資料館研究論集 36 、九州歴史資料館年報 · 平成 22<br>年度 ·   |

|   |  |
|---|--|
| 福岡大学人文学部考古学研究室  | 福岡大学考古資料集成 4、日韓集落の研究（最終報告書）  |
| 佐賀県<br>佐賀市教育委員会   | 佐賀市埋蔵文化財本発掘調査報告書・2010年度・、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書・2008年度・、上恒安遺跡7区、神野二本松遺跡3、中原二本谷遺跡、西中野遺跡XII、西中野遺跡XIII、西中野遺跡XIV、西中野遺跡XV、徳永遺跡群XX、藤木遺跡II、藤木四木杉遺跡V、東名遺跡群I、東名遺跡群II<br>波多城跡、獅子城跡III、豊賀城跡群III、唐津市内遺跡確認調査（26）、唐津市内遺跡確認調査（27）、桜馬場遺跡（2）、唐津城跡（V）、岸岳古窯跡群III<br>市内遺跡確認調査概要報告書III、野田遺跡・利田柳遺跡、切畑遺跡<br>小溝上窯跡、白燒窯跡   |
| 唐津市教育委員会  |  |
| 神埼市教育委員会<br>有田町教育委員会<br>長崎県                                 | 市内遺跡発掘調査報告書<br>守山大塚古墳の発掘調査、守山大塚古墳、鶴亀城（神代城）跡、伊古遺跡II<br>松浦市内遺跡確認調査（3）  |
| 佐世保市教育委員会<br>雲仙市教育委員会<br>松浦市教育委員会<br>熊本県<br>宇土市教育委員会<br>大分県 | 曾根貝塚   |
| 大分市教育委員会  | 大分市市内遺跡確認調査概報・2009・2010年度・、米竹遺跡、大分市埋蔵文化財調査概要報告2010、大友府内17、下郡遺跡群、米竹遺跡、辻古墳群、末広遺跡1、横尾遺跡4、大道遺跡群4<br>坂手櫛城跡、中津城跡2、沖代地区条理跡旱取地区・水添坂本地区・佐知遺跡、加来東遺跡・中津城（Ⅶ）長者屋敷   |
| 中津市教育委員会  | 桑原遺跡・宮迫遺跡・小国久保遺跡・昔生台地と周辺の遺跡XIII<br>市内遺跡発掘調査概報19、法鏡寺遺跡  |
| 竹田市文化財管理センター<br>宇佐市教育委員会<br>大分県立歴史博物館<br>宮崎県                | 川部・高森古墳群発掘調査報告書  |
| 宮崎県埋蔵文化財センター<br>日南市教育委員会<br>宮崎市教育委員会                        | 宮崎県埋蔵文化財センター年報第15号、立野遺跡、富吉前田遺跡<br>平成22年度 日南市内遺跡発掘調査概報<br>柿木原地下式横穴墓56-1号、江田原第1遺跡、松添貝塚、草坂・山下遺跡、蓮ヶ池横穴群保存整備事業実績報IV、垣下遺跡、西ノ原第2遺跡、蓮ヶ池横穴群保存整備事業実績報VI、淨土江遺跡II、史跡生目古墳群辺道跡発掘調査報告書、椎屋形第1遺跡、椎屋形第2遺跡、上の原遺跡、北ヶ迫遺跡、前田二月田遺跡、黒太郎遺跡、深田遺跡、間越遺跡、垣下遺跡II、江田原第3遺跡、北中遺跡II、宮崎小学校遺跡、宮脇第2遺跡、北中遺跡III、史跡生目古墳群、垂水第2遺跡、宮崎市埋蔵文化財試掘・確認調査、下北方塚原第2遺跡、下猪ノ原遺跡第二地区、平塚遺跡、史跡生目古墳群、跡江地区遺跡 |
| 鹿児島県<br>鹿児島県立埋蔵文化財センター<br>鹿児島大学埋蔵文化財調査室                     | 埋文だより第55号～第57号<br>鹿児島大学構内遺跡 斎田遺跡第一地点（鹿児島大学構内遺跡郡元団地J-4区）<br>鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報25   |
| その他   | 埋蔵文化財関係統計資料、公立埋文協会報第46号～第47号<br>全国埋文協会報No.80<br>カルチベイトNo.38<br>倉敷美観地区・歴史と民俗・<br>古代の地形から『紀記』の謎を解く<br>神奈川県平塚市北金目塚越遺跡<br>朝日遺跡発掘調査報告書、特別史跡名古屋城跡発掘調査報告書、特別史跡名古屋城跡本丸御殿跡発掘調査報告書   |

平成24 (2012) 年度

---

## I 組織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成24年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。



|           |      |       |
|-----------|------|-------|
| 文化財保護課    | 課長   | 福本 明  |
| 埋蔵文化財センター | 館長   | 鍵谷 守秀 |
| タ         | 主幹   | 小野 雅明 |
| タ         | 主任   | 藤原 好二 |
| タ         | 副主任  | 綾野 早苗 |
| タ         | 嘱託職員 | 内田 智美 |
| タ         | タ    | 杉浦 美保 |
| タ         | タ    | 那須 玲子 |

(職名等は平成25年3月31日現在)

## II 事業の概要

### 1 調査事業

- (1) 事前協議 Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は343件と前年度比で約11%増と、昨年度に統いて増加しており、平成22年度までの減少傾向から増加傾向に転じている。また開発指導要綱に基づく事前協議の件数は、13件であった。このうち4件について文化財保護法に基づく届出が提出された。
- (2) 発掘調査 平成24年度は確認調査4件、立会調査34件を実施した。仮設校舎建設に伴って確認調査を行った広江・浜遺跡では、校庭の一部に製塩土器などを含む包含層が残っていることが判明した。また、土砂採取に伴って実施した寺在古墳の立会調査では古くに石材が根こそぎ動かされ、旧態を留めていないことが確認された。
- (3) 分布調査 昨年度に引き続き真備町内の分布調査を実施した。真備町尾崎地区を中心にその他の真備町内に所在する遺跡43か所を踏査し、遺跡台帳を作成後パソコンに入力した。また、酒津地区的古墳4基、矢部地区的遺跡1か所も踏査した。
- (4) 整理作業 本年度報告書刊行予定の朝原寺跡(昭和60年度調査)および溝落遺跡の出土遺物について、実測・トレース等を実施した。また、朝原寺跡(平成16年度調査)出土の鉄製品の保存処理を実施するとともに、腐蝕が進行した茂浦古墳群・南山21号墳出土の鉄製品の一部について再処理を実施した。

## 2 教育普及事業

(1) 主催講座等 春の遺跡見学会など、延べ14回の講座等を実施。延べ参加人数4,229人。

| 講座・イベント名            | 実施日       | 講座内容              | 参加人数   |
|---------------------|-----------|-------------------|--------|
| 春の遺跡見学会⑦            | 5/13 (日)  | 操山古墳群を歩く          | 22人    |
| 縄文ボロシェットを作ろう        | 7/22 (日)  | 紙紐を編んだボロシェット作り    | 6人     |
| 古代の勾玉を作ろう①          | 7/28 (土)  | 高麗石を用いた勾玉作り       | 3人     |
| 古代の勾玉を作ろう②          | 7/29 (日)  | タ                 | 10人    |
| 管玉のプレスレットを作ろう       | 8/5 (日)   | 高麗石を用いた腕輪作り       | 16人    |
| ペーパークラフトで<br>銅鏡を作ろう | 8/12 (日)  | 紙工作による銅鏡作り        | 2人     |
| ライフバークの集い           | 8/19 (日)  | ミニチュア土器等の発掘体験     | 2,794人 |
| ガラスでとんぼ玉を作ろう        | 9/30 (日)  | ガラスを用いたとんぼ玉作り     | 9人     |
| 秋の考古学講座<br>「岡山の城郭史」 | 10/28 (日) | 古代山城 鬼ノ城          | 44人    |
| タ                   | 11/4 (日)  | 岡山県の中世山城          | 36人    |
| タ                   | 11/11 (日) | 考古学からみた岡山県下の近世城郭  | 36人    |
| こどもまつり              | 2/10 (日)  | トンボ玉ストラップ作り       | 1,226人 |
| 山城探訪                | 2/24 (日)  | 経山城を歩く            | 20人    |
| ミニチュアの古代鏡を作ろう       | 3/3 (日)   | 低融点合金を用いたミニチュア鏡作り | 5人     |

(2) 出前講座等講師派遣 古代の土笛作り等、延べ19回の派遣。延べ参加人数656人。

| 派遣内容      | 開催日      | 依頼団体              | 参加人数 |
|-----------|----------|-------------------|------|
| 古代の遺跡について | 4/18 (水) | 倉敷市立赤崎小学校         | 81人  |
| 古代の土笛作り   | 4/21 (土) | 有料老人ホームたましま       | 38人  |
| 庄地区の歴史    | 5/8 (火)  | 日畑ふれあいサロン         | 33人  |
| 博物館学実習    | 5/23 (水) | 倉敷芸術科学大学          | 50人  |
| 古代の土笛作り   | 7/25 (水) | まびっこ岡田児童クラブ       | 17人  |
| タ         | 7/26 (木) | くらしき夢クラブ(西小内)     | 27人  |
| タ         | 8/7 (火)  | 共中子ども会            | 41人  |
| タ         | 8/7 (火)  | 沙美なぎさクラブ          | 26人  |
| タ         | 8/9 (木)  | 連きたっこ児童クラブ(連島北小内) | 30人  |
| タ         | 8/10 (金) | 共陸南子ども会           | 30人  |

| 派遣内容        | 開催日       | 依頼団体                | 参加人数 |
|-------------|-----------|---------------------|------|
| 古代の土笛作り     | 8/21 (火)  | 羽島こども会              | 17人  |
| タ           | 8/22 (水)  | マリン児島地区社会福祉協議会(児島小) | 41人  |
| タ           | 8/22 (水)  | 鴻の巣クラブ(琴浦西小)        | 27人  |
| タ           | 8/23 (木)  | タ                   | 30人  |
| タ           | 8/24 (金)  | 郷内文化大学(郷内公民館)       | 18人  |
| 王墓の丘史跡公園の説明 | 11/23 (金) | 庄学区愛育委員会            | 25人  |
| 古代の土笛作り     | 12/18 (火) | 平山いきいきサロン           | 24人  |
| 学区体験        | 2/5 (火)   | 倉敷市立庄小学校            | 36人  |
| 備中の石造狛犬     | 3/14 (木)  | 備中倉敷学               | 65人  |

(3) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第15集「朝原寺跡2 溝落遺跡」

A4判 本文86頁 図版20頁 600部 平成25年3月刊行

(4) 資料の貸出

| 貸出期間            | 資料名   | 貸出先     | 使用目的                             |
|-----------------|---|---------|----------------------------------|
| 1 4月1日~         | 宗澤コレクション 17点<br>寒田窯跡群4号出土<br>須恵器 4点<br>亀山窯跡群8号出土<br>擂鉢 1点       | 文化財保護課  | 児島歴史民俗海洋資料室にて展示                  |
| 2 9月26日~12月19日  | 西山遺跡出土<br>特殊器台 1点<br>矢部出土<br>竜形土製品 1点<br>矢部堀越遺跡出土<br>特殊器台形埴輪 1点 | 岡山県立博物館 | 平成24年度特別展<br>「邪馬台国の時代」にて展示       |
| 3 11月9日~11月27日  | 見島所在遺跡からの出土遺物 80点   | 児島商工会議所 | 【HISTORY EXHIBITION (児島の歴史)】にて展示 |
| 4 11月15日~12月21日 | ミニチュア鏡鋳型 2点   | 岡山県立博物館 | 県立博物館主催講座にて使用                    |

(5) 資料の提供

| 資料名                 | 提供先              | 使用目的              |
|---------------------|------------------|-------------------|
| 1 横内北窯跡群1号出土 坏類 36点 | 岡山理科大学<br>教授 白石純 | 胎土分析による古代須恵器の産地同定 |

(6) 写真の掲載許可

|   | 許可日   | 写 真 名    | 許 可 先       | 掲 載 物                      |
|---|-------|----------|-------------|----------------------------|
| 1 | 8月26日 | 柄染遺跡 全景  | 1点 (株)童心社   | 『遺跡から調べよう②弥生時代』            |
| 2 | 8月29日 | 秦原廃寺 軒丸瓦 | 1点 関山県文化振興課 | 『第2回おかやま文化フォーラム』<br>募集チラシ  |
| 3 | 3月12日 | 竜形土製品    | 1点 朝日新聞出版   | 週刊朝日百科<br>『週間 新発見!日本の歴史』8号 |

3 利用者数

展示・講座等を含めた平成24年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は15,891人で、昨年度と比較して約2%の微減となった。講座・イベントの参加者増に対して、センター展示室の利用者数が減少しているためで、展示更新などを検討していく必要があると考えられる。

《平成24年度月別利用者数》

| 月  | 大人     | 子ども    | 講座等  | 計       | 開館日数 | 1日平均利用者数 |
|----|--------|--------|------|---------|------|----------|
| 4  | 285    | 494    | 119  | 898     | 26   | 35       |
| 5  | 307    | 410    | 105  | 822     | 26   | 32       |
| 6  | 264    | 440    |      | 704     | 26   | 27       |
| 7  | 458    | 805    | 63   | 1,326   | 26   | 51       |
| 8  | 1,853  | 2,299  | 278  | 4,430   | 27   | 164      |
| 9  | 407    | 691    | 9    | 1,107   | 26   | 43       |
| 10 | 276    | 533    | 44   | 853     | 26   | 33       |
| 11 | 368    | 501    | 97   | 966     | 26   | 37       |
| 12 | 249    | 183    | 24   | 456     | 23   | 20       |
| 1  | 263    | 252    |      | 515     | 23   | 22       |
| 2  | 985    | 1,106  | 56   | 2,147   | 24   | 89       |
| 3  | 744    | 853    | 70   | 1,667   | 27   | 62       |
| 合計 | 6,459人 | 8,567人 | 865人 | 15,891人 | 306日 | 52人      |

### III 教育普及事業報告

#### 1 春の遺跡見学会⑦

～操山古墳群を歩く～

日 時 平成24年5月13日（日）  
講 師 小野智明（倉敷埋蔵文化財センター）  
対 象 一般  
参加者 22人

岡山市街地の東に横たわる操山丘陵に分布する古墳群を訪ねた。操山公園里山センターを起点に遊歩道を進み、午前中に旗振台古墳、八幡岩古墳、二又古墳、金蔵山古墳を巡った。戦後間もなく内部主体が発掘された旗振台古墳では、出土状況を再現しながら被葬者について想像を膨らませた。ここで参加者の方々から古墳名の由縁についていくつかの指摘があった。金蔵山古墳では立ち木が伐採されていたため、墳丘をめぐる葺石や石室はもとより、全長165mを測る大前方後円墳の雄姿を捉えることができた。昼食後は柿の木古墳、沢田大塚古墳、操山古墳群51号の順に後期古墳を見学した。操山古墳群で最大級の横穴式石室をもつ沢田大塚古墳では、頭上に懸架された巨大な天井石を見上げながら築造に投じられたエネルギーを感じた。最後に、見学ルートから少しそれぞれの場所にある操山古墳群51号を見学して下山した。



今回の見学会は、全行程が山歩きというコースであったにもかかわらず、ベース配分に十分な配慮がなかったため、参加者の方々にご負担をかけたことが反省点のひとつである。

---

#### 2 考古学体験講座

～縄文ボシェットを作ろう～

日 時 平成24年7月22日（日）  
講 師 内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）  
対 象 小学5～6年生と保護者  
参加者 6人

青森県三内丸山遺跡から出土したかごをモデルに、工作用紙バンドを使って縄文風ボシェットを作った。形が崩れないようスプレー缶を芯にして、幅広の紙バンドを使って網代編みで編んでいく。腰にぶら下げられるよう、最後に麻紐5本で編んだ組紐を口の部分に通せば、縄文ボシェットの完成である。網代編みは段毎にずらして編んでいくため、途中で間違えてやり直す場面も見られたが、参加した親子は皆、形のいい縄文ボシェットに仕上げていた。



### 3 考古学体験講座

～古代の勾玉を作ろう①・②～

日 時 平成24年7月28日(土)・29日(日)

講 師 錦谷守秀(倉敷埋蔵文化財センター)

対 象 小学4～6年生と保護者

参加者 13人

勾玉の材料には、加工がしやすく粘りがある高麗石を使用している。まず、金のこやブロックを使って長方形の高麗石を勾玉の形に整形した後、「頭」の部分にさきり穴を開ける。次に、両サイドを曲面に削り勾玉の原型ができたら、2種類の耐水ペーパーで段階的に表面を磨いていく。親子で励まし合いながら各自納得ができるくらいまできれいに磨いた後は、好きな色の染料に10分程度浸ければ、自分だけのオリジナル勾玉の完成である。



### 4 考古学体験講座

～管玉のプレスレットを作ろう～

日 時 平成24年8月5日(日)

講 師 杉浦美保(倉敷埋蔵文化財センター)

対 象 小学4～6年生と保護者

参加者 16人

加工しやすい高麗石で管玉と丸玉を作り、それらを組み合わせて古代風のプレスレットに仕上げる講座。厚みの違う正方形の高麗石2個に、それぞれ筆で9個穴をあけそれらを金のこで切り離したあと、1個ずつ紙やすりで管玉と丸玉の形に整えていく。日の細かい紙やすりで管玉と丸玉を磨き、自分の好きな色に染めた後、色の組み合わせを考えながらゴムに通してプレスレットを完成させた。丸玉は丸く削るのが難しく、磨きの時間があまり取れなかつたが、染めると磨き残しが目立たなくなり、どれもカラフルでおしゃれなプレスレットに仕上がっていった。



### 5 考古学体験講座

～ペーパークラフトで銅鐸を作ろう～

日 時 平成24年8月12日(日)

講 師 那須玲子(倉敷埋蔵文化財センター)

対 象 小学4～6年生

参加者 2人

この講座では、弥生時代の銅鐸をモデルにして厚紙で銅鐸模型を作った。あらかじめ銅鐸の片側が2面分印刷してある厚紙に色鉛筆で好きな色を塗り、それを形どおりに切り取ったあと、木工用ボンドで貼り合わせて組み立てた。色塗りと切る作業は簡単にできていたが、紙が少し硬かったため、曲線部を貼り合わせるのにやや苦労しているようであった。しかし、厚めの紙を使うことで、しっかりとしたカラフルなペーパークラフトの銅鐸が完成していた。



## 6 ライフパークの集い ～ドキドキ発掘体験～

日 時 平成24年8月19日(日)  
会 場 埼玉文化財センター「遺物整理室」  
対 象 子ども  
参加者 2,794人

ライフパークの集いは、ライフパーク倉敷の周知を目的として毎年夏休みに行われるイベントで、当センターでは子どもを対象として、大きな砂場からミニチュアの土器などを掘り出してもらう、「ドキドキ発掘体験」を行っている。毎年2,500人を超える参加者があるが、小学校低学年以下の子どもたちも多いため、掘った種類ごとにカードにスタンプを押すなど、興味を持って参加できるよう工夫を凝らしている。



## 7 秋の考古学講座 ～岡山の城郭史～

日 時 平成24年10月28日・11月4日・11日(日)  
講 師 第1回 谷山雅彦(総社市教育委員会)  
「古代山城 鬼ノ城」  
第2回 島崎 東(岡山県立博物館)  
「岡山県の中世山城」  
第3回 秉岡 実(岡山市教育委員会)  
「考古学からみた岡山県下の近世城郭」  
会 場 ライフパーク倉敷「視覚ホール」  
対 象 一般  
参加者 106人(延べ人数)

岡山県内には古代から近世にかけての多くの城郭が存在しているが、これらはそれぞれに時代背景を持つて築かれている。今回は古代から近世までの各時代の城郭を通観する形で、城郭の持つ歴史的背景を学んでいく講座を開催した。

第1回は谷山雅彦氏による講演である。約40年にわたって断続的に行われた発掘調査によって明らかになってきた古代山城「鬼ノ城」の最新情報を紹介いただいた。城壁や城門の構造の解明や、城内の礎石建物や狼煙跡の確認などの成果が紹介されるとともに、築城時期や目的などに謎が残されていることも指摘され、話を締めくくられた。

第2回は島崎東氏による講演で、中世山城についてお話ししていただいた。これまでに県教育委員会などが実施した発掘調査によって得られた成果を紹介するとと



もに、氏が自ら中世山城に登り、実地で作成した縄張図を用いて特徴や構造などが解説された。城というと石垣と天守を思い浮かべるものであるが、石垣などのない中世山城の構造は、受講生にとっても新鮮な驚きであったようである。

第3回は乗岡 実氏による講演で、近世城郭の軍事、政治、住まいといった側面それぞれについてわかりやすい説明がなされるとともに、天守などの建築物、瓦や石垣などの構成要素に関する解説も行われた。城主の交代に伴って城の持つ役割が変化していく、それによって岡山城の石垣が変遷していった過程や、瓦の分析に基づいた本城・支城の関係についての話など、受講生は特に関心を持って聴講していた。



## 8 こどもまつり

～とんぼ玉ストラップを作ろう～

日 時 平成25年2月10日(日)  
会 場 理文化財センター「遺物整理室」  
対 象 こども  
参加者 1,226人

昨年に続き、今年も「とんぼ玉ストラップをつくろう」を実施した。内容は、好きな色のとんぼ玉1個を選び、小玉(カラービーズ)2個と紐で結び、ストラップに仕上げるというものである。結び方は3種類あるが、手先の器用な子どもはサンプルを見ただけで、時間をかけずに簡単に作っていた。一方、小さい子や手間取っている子どもには、職員が結び方をわかりやすく説明したり、手助けをしながら一緒に作った。この催しは毎年人気があるが、特に今年は用意していた600組分の材料が、終了予定時刻の30分前には全てなくなるほどの大盛況であった。



## 9 山城探訪

経山城を歩く－尼子氏を退けた備中の山城－

日 時 平成25年2月24日(日)  
講 師 駿原好二(倉敷理文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 20人

経山城は古代山城 鬼ノ城の西方山上に位置する中世山城である。集合場所である鬼ノ城の駐車場からはそれほど遠い行程もなく、30分程度で城跡に到着した。城跡から東には鬼ノ城の復元された城門を遠望でき、また、南に目を転じると総社平野を一望できる眺望に見入るながら、城跡を見学した。受講生は、周囲の地形の急峻さに驚き、さらには複雑な城郭構造の解説を聞くにつれ、尼子氏の軍勢を退けたこともさもありと納得している様子であった。



## IV 調査事業報告

平成24年度調査一覧表

| No. | 遺跡名      | 該当地   | 調査原因              | 区別 | 調査期間                 | 調査結果        |
|-----|----------|-------|-------------------|----|----------------------|-------------|
| 1   | 大浜遺跡     | 大島    | 携帯電話基地局<br>新設工事   | 立会 | 12.05.22<br>12.07.04 | 遺物・遺構なし     |
| 2   | 上東遺跡     | 上東    | 水道管理設工事           | タ  | 12.06.07             | タ           |
| 3   | 上東遺跡     | 上東    | 下水道設計<br>のための試掘調査 | タ  | 12.06.07<br>12.06.11 | タ           |
| 4   | 寺谷遺跡     | 祐安    | 宅地造成工事            | 確認 | 12.06.13             | タ           |
| 5   | 塩生遺跡     | 児島塩生  | 水道管理設工事           | 立会 | 12.06.15             | タ           |
| 6   | 真備町329遺跡 | 真備町辻田 | 水道管理設工事           | タ  | 12.06.15             | タ           |
| 7   | 上東遺跡     | 上東    | 住宅建設工事            | タ  | 12.06.26             | タ           |
| 8   | 平山遺跡     | 真備町市場 | 配水管改良工事           | タ  | 12.08.24             | タ           |
| 9   | 寺古墳      | 真備町市場 | 土砂採取              | タ  | 12.08.28             | 中世土器片       |
| 10  | 柿ノ木遺跡    | 串田    | 住宅建設工事            | タ  | 12.08.30             | 遺物・遺構なし     |
| 11  | 金浜遺跡     | 児島塩生  | 配水管移設工事           | タ  | 12.09.06             | タ           |
| 12  | 蓮池尻遺跡A   | 真備町妹  | 配水管改良工事           | タ  | 12.09.14             | タ           |
| 13  | 浜貝塚      | 玉島八島  | 宅地造成工事            | 確認 | 12.09.19             | タ           |
| 14  | 上東遺跡     | 上東    | 浄化槽設置工事           | 立会 | 12.09.20             | 弥生土器片・中世土器片 |
| 15  | 上東遺跡     | 上東    | 下水道設計<br>のための試掘調査 | タ  | 12.09.20             | 近世土器片・瓦片    |
| 16  | 塩生遺跡     | 児島塩生  | 配水管移設工事           | タ  | 12.09.25             | 遺物・遺構なし     |
| 17  | 広江・浜遺跡   | 広江1丁目 | 仮設校舎建設工事          | 確認 | 12.10.06             | 須恵器・製塙土器    |
| 18  | 上東遺跡     | 上東    | 浄化槽設置工事           | 立会 | 12.10.09             | 遺物・遺構なし     |
| 19  | 塩生遺跡     | 児島塩生  | 水道管理設工事           | タ  | 12.10.19             | タ           |
| 20  | 東元浜南貝塚   | 玉島柏島  | 墓地造成工事            | タ  | 12.11.08             | タ           |
| 21  | 上東遺跡     | 上東    | 宅地造成工事            | タ  | 12.11.15             | 弥生土器細片      |

| No. | 遺跡名           | 該当地   | 調査原因            | 区別 | 調査期間                 | 調査結果    |
|-----|---------------|-------|-----------------|----|----------------------|---------|
| 22  | 諸興寺跡          | 木見    | 下水道管理設工事        | 立会 | 12.11.28             | 遺物・遺構なし |
| 23  | 酒津遺跡          | 酒津    | 道路補修工事          | タ  | 12.12.03             | タ       |
| 24  | 亀山薬師貝塚        | 玉島道口  | 携帯電話基地局<br>新設工事 | タ  | 12.12.05             | タ       |
| 25  | 上東遺跡<br>・平松城跡 | 下庄    | 水路改修工事          | タ  | 12.12.26             | タ       |
| 26  | 下庄遺跡          | 下庄    | 宅地造成工事          | 確認 | 13.01.09             | 弥生土器片   |
| 27  | 北村大下遺跡        | 木見    | 個人住宅建設工事        | 立会 | 13.01.15             | 遺物・遺構なし |
| 28  | 塩生遺跡          | 児島塩生  | 下水道管理設工事        | タ  | 13.01.16             | タ       |
| 29  | 曾原遺跡          | 曾原    | 下水道管理設工事        | タ  | 13.01.22             | タ       |
| 30  | 広江・浜遺跡        | 広江1丁目 | 仮設校舎建設工事        | タ  | 13.01.31<br>13.02.05 | タ       |
| 31  | 上東遺跡          | 上東    | 水路改修工事          | タ  | 13.02.06             | タ       |
| 32  | 金浜遺跡          | 児島塩生  | 水道管理設工事         | タ  | 13.02.16             | タ       |
| 33  | 金浜遺跡          | 児島塩生  | 下水道管理設工事        | タ  | 13.02.16             | タ       |
| 34  | 金浜上遺跡         | 児島塩生  | 水道管理設工事         | タ  | 13.03.01             | タ       |
| 35  | 真備町198遺跡      | 真備町前田 | 水路改修工事          | タ  | 13.03.06             | タ       |



調査地点位置図 (S=1/100,000)

てらたに  
寺谷遺跡確認調査報告 (一覧表 No.4)

調査位置 祐安字寺谷1456番2

調査原因 宅地造成工事

調査面積 8m<sup>2</sup>

調査期間 12.06.13

調査担当 小野・藤原

**遺跡の概要** 倉敷市街地の北側、福山丘陵南麓に位置する祐安集落の畠地において須恵器、土師器が表面採集されていることから、この場所を平安時代～中世の散布地である寺谷遺跡として「倉敷埋蔵文化財センター編集『倉敷市遺跡地図（倉敷・庄地区）』2005年」に掲載している。遺跡の範囲は東西60m、南北約25mの耕作地の中に収まり、南接する水田との境には、土留めのコンクリート壁がめぐる。

**調査の概要** 調査は2×2mのトレンチを2か所設定して、断面観察を中心に行った。開発区域の西寄りに設定したトレンチ1では、耕作土直下に灰黄色土の造成層があり、大小の礫やアスファルト塊、コンクリート片が混入する。その下には現代遺物を含む暗灰色砂質土層がみられた。開発区域の東寄りに設定したトレンチ2でも耕作土の下にはトレンチ1と同様の造成土があり、その下には現代遺物を含む暗灰色砂質土層がみられた。

以上のように、寺谷遺跡として周知されていた場所は盛土造成された耕作地であることが判明した。土器片を含む土がどこから運ばれてきたのかは問題であるが、当該地を遺跡とする認識は否定される結果となった。  
(小野)



トレンチ位置図 (S=1/2,500)

## 浜貝塚確認調査報告 (一覧表 No.13)

|      |                 |      |                  |
|------|-----------------|------|------------------|
| 調査位置 | 玉島八島字壱丁目1927番1外 | 調査面積 | 8 m <sup>2</sup> |
| 調査原因 | 宅地造成工事          | 調査担当 | 小野・藤原            |
| 調査期間 | 12.09.19        |      |                  |

**遺跡の概要** 玉島八島の天王山古墳の存在する丘陵先端にあたる。中世の貝塚が存在するとされ、1986年と1987年に道路改修工事に伴う立会調査が行われているが、貝塚に関する遺構・遺物等は確認されておらず、実態は不明である。なお、丘陵前面の平野部は寛文10年(1670)に干拓によって陸地化したもので、それ以前は海であった。

**調査の概要** 調査地は丘陵東側で、標高は1mほどである。以前は水田であったようであるが、現在は耕作されていない。調査は造成予定地に2×2mのトレンチを2か所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ1は計画敷地内の西よりに設定した。厚さ10~15cm程の旧耕作土の下からは円礫が多量に検出された。この付近の丘陵の山上には円礫が多量に含まれる層があることから、この円礫層は地山ではないかと推定される。しかし、その色調が灰色であることから、干拓時に西側の丘陵を削って造成を行ったものである可能性も捨てきれない。その下の明黄褐色土は本来自然堆積の疊層であったものが、風化によって粘質化した土層のようである。

トレンチ2は計画敷地内の東よりに設定した。層位はトレンチ1と全く異なっていた。旧耕作土直下の黄褐色土は山土を主体とした層で、干拓時の造成土と考えられる。また、その下の2層も砂が混じる層ではあるが、造成土の可能性が高い。最下層(灰色砂質土)は干渴の砂浜を形成していた層であると考えられる。

いずれのトレンチからも重要な遺構・遺物は検出されなかった。

今回の調査の結果、トレンチ1付近は丘陵先端を削平して水田化したものであり、一方、トレンチ2付近は干拓以前において遠浅の干渴であった状況が推定できる。しかし、貝塚が存在した痕跡についてはまったく確認できなかった。(藤原)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

# ひろえ はま 広江・浜遺跡確認調査報告 (一覧表 No.17)

調査位置 広江1丁目9番1

調査原因 仮設校舎建設工事

調査面積 12m<sup>2</sup>

調査期間 12.10.06

調査担当 小野・藤原

遺跡の概要 広江・浜遺跡は、かつての瀬戸内海に浮かぶ孤島「吉備の児島」の西岸に立地する。遺跡の範囲は倉敷市立第三福田小学校の校舎部分が中心で、縄文時代から中世までの長期にわたる集落跡として周知されている。古墳時代後期から奈良時代にかけては大規模な土器製塩が営まれ、炉跡などの遺構とともにおりただしい量の製塩土器等が出土している。

調査の概要 調査対象地には、今回建設される仮設校舎より少し広い範囲を占める建物群が存在した。確認調査は2×2mの規模のトレンチを3か所設定して、断面観察を中心に行った。

トレンチ1では、運動場整地層の下に灰黄褐色土、黒褐色土が入り混じる擾乱層が存在する。この層には古墳時代後期の遺物が含まれるが、コンクリート塊、レンガなどの建築廃材が混入することから、建物の解体、運動場の造成により遺物包含層が破壊されたものと考えられる。その下、地表下約70cmには古墳時代後期の製塩土器や須恵器などを含む遺物包含層の黒褐色土が残存する。地表下約120cmで黄褐色細砂の海砂層となり、この層を掘り込む土壤が確認された。

トレンチ2では、運動場整地層の下、地表から約60cmの深さで小学校建設以前の水田耕作土がみられた。その下には縄文晩期から古墳時代後期の遺物を含む砂質の層、明黄褐色細砂の海砂と続く。海砂上面の深さは、トレンチの南隅で地表面下110cm、北隅で同160cmである。

トレンチ3では、地表下約170cmで黄褐色細砂の海砂層が現れるまで、もともとの堆積層は全て工事により搅乱を受けており、遺物包含層は破壊されてブロック状になっている。

まとめ 以上のように、調査地において深部に遺跡が残存していることが確認された。小学校の敷地となる以前、当該地には建物群が存在しており、その建設、撤去から運動場の造成に至るまでの間に遺物包含層が破壊を受けていることが知られた。その深さは地表からだいたい60~70cmまで達しており、部分的にはさらに深く破壊されている場所もある。

(小野)



トレンチ位置図 (S=1/2,500)

# 下庄遺跡確認調査報告 (一覧表 No.26)

調査位置 下庄字オノ木東61番2外  
 調査原因 宅地造成工事  
 調査面積 8m<sup>2</sup>  
 調査期間 13.01.09  
 調査担当 小野・藤原

**遺跡の概要** 下庄遺跡は、倉敷市北東部を流れる足守川の西岸に立地する弥生時代から中世にかけての集落遺跡である。周辺の集落遺跡として、北から藤の木遺跡、才栗遺跡、岩倉遺跡、上東遺跡が連続して存在するが、下庄遺跡はその集落遺跡群の南東端に位置している。岡山県教育委員会が実施した道路建設に伴う発掘調査では、弥生時代後期とされる波止場状遺構が検出されている。また、倉敷市教育委員会が実施した市道建設に伴う発掘調査では、弥生時代後期の土壙、溝等が検出されている。これまでの調査から、全体的に南に下るほど遺構密度が低くなる傾向が認められる。

**調査の概要** 調査地は標高1mほどの休耕田である。調査は、南北に細長い開発予定地の2か所に2×2mのトレンチを設定して、地層の断面観察を中心に行った。トレンチ1では、旧耕作土・床土の下に黄灰色粘質土、にぶい黄色粘質土が続き、その下には暗青灰色粘質土、暗青灰色砂が堆積していた。水田床土に土器片が少量含まれる以外は遺物の出土ではなく、遺構も確認されていない。トレンチ2では、旧耕作土・床土の下に堆積する粘質土に若干の弥生土器が含まれるが、磨耗がみられることから、付近から流入したものと思われる。その下にはトレンチ1と同様、暗青灰色粘質土がみられる。トレンチ2でも遺構も確認されていない。

以上の結果から、当該地では遺構は確認されず、弥生時代の遺物が少量出土しているが、周辺からの流れ込みによるものと判断された。

(小野)



トレンチ位置図 (S=1/2,500)

## V 寄贈図書一覧 (2012.4.1 ~ 2013.3.31)

|  |  |
|--|--|
| 青森県<br>青森県教育委員会<br>岩手県<br>盛岡市都市整備部<br>北上市立埋蔵文化財センター<br>二戸市埋蔵文化財センター<br>宮城県<br>多賀城市埋蔵文化財調査センター<br><br>山形県<br>(公財) 山形県埋蔵文化財センター<br>東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科  | 福島城跡<br><br>史跡盛岡城跡保存管理計画書<br>山林寺跡調査の現状と課題、記念講演「寺院資財帳からみた古代山林寺院」<br>天神下II遺跡・大段造跡・橋場遺跡<br><br>文化財レスキュー活動報告書、市川橋遺跡・第72次調査報告書・出土の漆紙文書、<br>多賀城市内の遺跡2・平成23年度発掘調査報告書・、山王遺跡ほか  |
| 福島県<br>(財) 福島県文化振興事業団<br>(財) 福島市文化・学び振興公社<br>茨城県<br>土浦市立博物館<br>筑波大学歴史・人類学専攻<br>(公財) 茨城県教育財團<br>栃木県<br>(財) とちぎ未来づくり財團   | 理文やまがた第49号～第50号<br>歴史遺産研究No.7/2012、月布川流域における绳文時代遺跡の研究1、個體地域の終末期古墳5<br><br>新編陸奥風土記 卷之十様菴郡、まほろん<br>まる さんかく しかく 第12号  |
| 埼玉県<br>吉見町埋蔵文化財センター<br>熊谷市立江南文化財センター<br>千葉県<br>市川市教育委員会<br><br>国立歴史民俗博物館<br>東京都<br>宮内庁書陵部<br>早稲田大学考古学会<br>国学院大学文学部考古学研究室<br>明治大学博物館<br>青山学院大学文学部史学研究室<br>首都大学東京 考古学研究室<br>神奈川県<br>横須賀市教育委員会<br>新潟県<br>新潟市文化財センター | 土浦市立博物館紀要第22号<br>筑波大学 先史学・考古学研究第23号<br>埋蔵文化財 年報31<br><br>橋本系埋蔵文化財保護行政年報34、研究紀要第20号、埋蔵文化財センター年報第22号、鶩宿城跡・小曾根遺跡・上金枝I・II・III遺跡・仲内遺跡・和田遺跡・菅田古墳群・神畑遺跡・櫛崎渡戸古窯跡・唐沢山城跡・やまかいどう 2012年6月～2011年11月、甲塚古墳・県営圓場整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査・工事立会概要報告書、鶩宿城跡・小曾根遺跡・上金枝I遺跡・上金枝II遺跡・山の神II遺跡・神畑遺跡・櫛崎渡戸古窯跡・櫛崎中妻遺跡・橋本西遺跡・唐沢山城跡・東谷・中島地区遺跡群12、東谷・中島地区遺跡群13・上金枝I遺跡・上金枝II遺跡・上金枝III遺跡・仲内遺跡2・和田遺跡・菅田古墳群<br><br>町内遺跡6<br>王子西漢跡II・樋の上遺跡・西別府遺跡I・西別府庵寺Ⅲ・前中西遺跡Ⅳ<br><br>平成19・20年度市川市内遺跡発掘調査報告・山ノ跡遺跡第12地点発掘調査報告書・平成23年度市川市埋蔵文化財発掘調査報告・高徳保遺跡<br>古墳開闢資料、国立歴史民俗博物館研究報告第170集・第172集～第177集<br><br>書陵部紀要第63号・書陵部紀要第63号(後幕篇)<br>古代第126号～第128号・古代第129・130合併号<br>考古調査土への招待・鶴高古墳群2011年度発掘調査報告書<br>明治大学博物館年報2010年度・明治大学博物館年報2011年度<br>青山史学 第三十号<br>人類誌情報2008・2009<br><br>飛越遺跡<br><br>国指定史跡古津八幡山遺跡 歴史の広場 弥生の丘展示館ガイドブック No.1、三王山遺跡II・大沢谷内遺跡II、四十石造跡 第2次調査、大沢谷内遺跡II、結七 |

|  |  |
|--|--|
| 富山県<br>富山県埋蔵文化財センター  | 鳥遺跡VI、林付遺跡 第2次調査、遺跡からさぐる新潟の原点<br><br>埋文とやま vol118～vol121、富山県埋蔵文化財センター年報・平成22年度・、<br>縄文時代中期の石斧つくりのムラ 補山寺遺跡2【土器・石器編】、縄文時代中期の石斧つくりのムラ 補山寺遺跡 出土品集2【土器・石器編】、寧楽と越・大伴家持のみた万葉の越・、富山県埋蔵文化財センター年報・平成23年度・  |
| 石川県<br>小松市埋蔵文化財センター<br>能登町真駒遺跡範囲館<br>金沢大学人文学類考古学研究室<br>長野県<br>(財)長野県埋蔵文化財センター  | 銛畠遺跡・梯遺跡・小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ<br>真駒遺跡 2012<br>金沢大学考古学紀要第33号<br><br>国道474号線(飯森道路)埋蔵文化財発掘調査報告書5、一般国道18号(坂城更埴バイパス)埋蔵文化財発掘調査報告書3、湯り遺跡・久保田遺跡・西一里塚遺跡群<br>長野市埋蔵文化財センター所報No.22、籠ノ井遺跡群(7)、浅川扇状地遺跡群<br>鶴原宮北遺跡<br>横田古屋敷遺跡・川西開田遺跡Ⅲ、IV<br>荒神山おんまわし遺跡・三谷遺跡<br>藤内・先史哲学の中心・<br>長野県立歴史館たより vol.72・vol.74  |
| 長野市埋蔵文化財センター<br><br>松本市教育委員会<br>辰野町教育委員会<br>井戸尻考古館<br>長野県立歴史館<br>岐阜県<br>(公財)岐阜市教育文化振興事業団<br>岐阜市教育委員会<br>静岡県<br>磐田市教育委員会<br>富士市教育委員会<br>愛知県<br>愛知県教育委員会<br>新城市教育委員会<br>一宮市博物館<br><br>名古屋市見晴台考古資料館 | 鷺山市場遺跡<br>史跡岐阜城跡保存管理計画書<br><br>旧赤松家園書蔵保存修理工事報告書<br>宇東川遺跡 A地区<br><br>朝日遺跡 発掘調査と出土品<br>新城城跡発掘調査報告書<br>元原敷遺跡発掘調査報告書I・石器編・、服部元之氏採集資料・中島郡・、視ことはじめ、馬と人々の暮らし<br>名古屋市見晴台考古資料館年報29、瑞穂遺跡・名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第14号、正木町遺跡・天白元屋敷遺跡・高蔵遺跡・埋蔵文化財調査報告書65～67   |
| 豊田市郷土資料館<br><br>名古屋大学考古学研究室<br>三重県<br>松阪市教育委員会<br>鈴鹿市考古博物館<br>滋賀県<br>守山市立埋蔵文化財センター   | 豊田市郷土資料館だより No.79～No.83、寺部遺跡・神明遺跡Ⅰ・北ノ脇窯跡・十五夜窯跡・池寺窯跡・山洞窯跡・宮ノ後遺跡・亀首遺跡・堂外戸遺跡・平成21年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書<br>名古屋大学文学部研究論集173<br><br>史跡松阪城跡測量調査概報、平成23年度年報<br>鈴鹿市考古博物館年報第13号～第14号<br><br>伊勢遺跡発掘調査報告書VI、伊勢遺跡発掘調査報告書VII、平成21年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、下之郷遺跡の史跡整備に伴う発掘調査報告書I・、下之郷遺跡の史跡整備に伴う発掘調査報告書II・、史跡下之郷遺跡保存整備事業報告書・、欲賀遺跡第3次発掘調査報告書・、欲賀南遺跡発掘調査報告書・、東辻戸遺跡発掘調査報告書<br>斗西遺跡(26次)<br>下鉤遺跡発掘調査報告書・、手原遺跡発掘調査報告書・、辻遺跡発掘調査報告書・、靈仙寺遺跡発掘調査報告書・、下鉤遺跡発掘調査報告書・、下鉤東・上鉤遺跡発掘 |
| 東近江市埋蔵文化財センター<br>(財)栗東市体育協会  |  |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| (公財) 滋賀県文化財保護協会       | 調査報告書、金勝寺、幻の白鳳寺院～逸名の寺をさぐる～、はっくつ 2011・栗東市話題の発掘調査・、奈良時代の人形、栗東市埋蔵文化財調査報告 2010（平成 22）年度年報   |
| 滋賀県教育委員会              | 古代近江の渡来文化、おうみ文化財通信 Vol.11 ~ Vol.14、おおてみち第 81 号、戦国三武将と近江の城   |
| 大津市教育委員会              | 赤野井湧遺跡、坂岩古墳群、佐和山城跡、六反田遺跡Ⅱ、辻遺跡、六反田遺跡Ⅰ、琵琶湖東南部草津川地域の湖底・湖岸遺跡  |
| 米原市教育委員会              | 大津市埋蔵文化財調査年報・平成 22（2010）年度・、近江國府跡発掘調査報告書、穴太遺跡（黒月出地区）発掘調査報告書、史跡近唇寺境内発掘調査報告書、中畠田遺跡発掘調査報告書、貞野遺跡発掘調査報告書、大津市埋蔵文化財調査年報・平成 23（2011）年度・、山ノ神遺跡出土鶴尾調査報告書、近江國府跡開発遺跡発掘調査報告書 VI・、近江國府跡・国庁跡東隣接地の調査・   |
| 野洲市教育委員会              | 佐加太第 35 号～第 36 号  |
| 高島市教育委員会              | 平成 23 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 2、平成 23 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、平成 24 年度野洲市内遺跡発掘調査年報、平成 24 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 2  |
| 竜王町教育委員会              | 高島市内遺跡調査報告書・平成 23 年度・、法蓮寺・太田町遺跡   |
| 甲良町教育委員会              | 竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成 22.23 年度   |
| 滋賀県立安土城考古博物館          | 長瀬遺跡  |
| 大津市歴史博物館              | おおてみち第 79 号・第 80 号・第 82 号   |
| 滋賀県立大学人間文化学部          | 大津懸拂だより No.88   |
| 京都府                   | 人間文化 30 号～33 号・33 号別冊   |
| (財) 京都市埋蔵文化財研究所       |   |
| (公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター | 史跡賀茂別雷神社境内・上京遺跡・平安京右京一条三坊十三町・二条三坊十六町跡・勝持寺旧境内・六波羅彌寺境内・六波羅政厅跡・常盤仲之町遺跡・常盤東ノカ古墳群・昭和 53 年度 京都市埋蔵文化財調査概要・昭和 54 年度 京都市埋蔵文化財調査概要・白河街区跡・吉田上人路町遺跡・長岡京跡・淀城跡・史跡・名勝 嵐山・史跡・名勝 嵐山・平安京右京三条三坊四町跡・本山古墳群・大般闘跡・大般闘城跡                                      |
| (公財) 向日市埋蔵文化財センター     | 京都府埋蔵文化財情報第 117 号～第 119 号   |
| 京都府教育庁                | 年報 都城 24  |
| 京田辺市教育委員会             | 京都府埋蔵文化財調査報告書（平成 23 年度）   |
| 京都市文化芸術都市推進室          | 興戸遺跡第 16 次発掘調査報告書   |
| 与謝野町教育委員会             | 史跡弓削具見廬根旧宅・、京都市内遺跡発掘調査報告 平成 23 年度・、京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成 23 年度・、京都市内遺跡試掘調査報告 平成 23 年度   |
| 南丹市立文化博物館             | 小峰遺跡・小峰古墳群  |
| 京都橘大学                 | 南丹市立文化博物館だより第 8 号・、戦争と南丹市・、南丹市立文化博物館 小出文庫漢籍古書分類目録   |
| 龍谷大学文学部考古学研究室         | 京都橘大学 文化財調査報告 2011  |
| 大阪府                   | 平安京左京八条二坊一町（東市外町）、平安京左京八条二坊一町（東市外町）発掘調査報告書・、平安京左京七条二坊十一町（東市外町）発掘調査報告書   |
| 高槻市立埋蔵文化財調査センター       | 鶴上遺跡群 36・、高槻市文化財年報 平成 21・22 年度  |
| 泉南市埋蔵文化財センター          | 泉南市遺跡群発掘調査報告書 XX IX   |
| 堺市教育委員会               | 徹底分析・仁德陵古墳・巨大前方後円墳の実像を探る・、ニサンザイ古墳の調査、百舌鳥古墳群の調査 6、四ヶ池遺跡（Y O B 128）発掘調査概要報告・、平成 22 年度市内遺跡立会調査概要報告・、太井遺跡（T A I - 5）発掘調査概要報告・、真福寺遺跡（S P J - 2）発掘調査概要報告・、金剛遺跡（K N O - 3）発掘調査概要報告・、堺灘瀬市遺跡（SKT1054）発掘調査概要報告・、史跡上塔の文字瓦・、平成 23 年度国庫補助事業発掘調査報告書 |

|                  |   |
|------------------|---|
| (公財) 大阪府文化財センター  | 要覧  |
| (公財) 枚方市文化財研究調査会 | 枚方市文化財年報 30 (2008 年度分) ~ 33 (2011 年度分)  |
| (公財) 八尾市文化財調査研究会 | 太田遺跡・恩智遺跡・亀井北遺跡・木の本遺跡・太子堂遺跡・西郡廢寺・弓削遺跡、財団法人 八尾市文化財調査研究会報告 137、太田遺跡・木の本遺跡・久宝寺遺跡、成法寺遺跡・太子堂遺跡・矢作遺跡、1 久宝寺遺跡 (第 76 次調査)・II 美園遺跡 (第 7 次調査)、財団法人 八尾市文化財調査研究会報告 140、平成 23 年度 (財) 八尾市文化財調査研究会事業報告 |
| 枚方市教育委員会         | 特別史跡百濟寺跡 平成 23 年度確認調査概要、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2011   |
| 東大阪市教育委員会        | 東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報・平成 23 年度 - 、わが街再発見・東大阪市の指定文化財 改訂版、- 市民が選んだ・郷土の人々  |
| 羽曳野市教育委員会        | 羽曳野市内遺跡調査報告書・平成 20 年度 - 、古市遺跡群 X X X III  |
| 泉佐野市教育委員会        | 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第 67 号～第 68 号、平成 23 年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要、土丸・南山城跡  |
| 交野市教育委員会         | 平成 23 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要  |
| 池田市教育委員会         | 池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2011 年度  |
| 吹田市教育委員会         | すいた歴史歩道 (増補版)・吉志部瓦窯跡・出土瓦整理報告書 - 、中ノ坪遺跡発掘調査報告書 I、中西家文書目録   |
| 茨木市教育委員会         | 平成 23 年度発掘調査概報  |
| 四條畷市教育委員会        | 中野遺跡・奈良井遺跡・南山下遺跡・岡山南遺跡発掘調査報告書・奈良井遺跡発掘調査概要報告書  |
| 河内長野市教育委員会       | 河内長野市埋蔵文化財調査報告書 30  |
| 大阪府立弥生文化博物館      | 弥生文化博物館要覧 - 平成 22 年度 - 、王と首長の神まつり   |
| 大阪府立近つ飛鳥博物館      | アスカディア・古墳の森 vol.36 ~ vol.37、大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 15、南九州とヤマト王権、歴史発掘 おおさか 2012  |
| 吹田市立博物館          | 平成 22 (2011) 年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報、大庄屋 中西家名品展、館報 12 ~ 13、博物館だより No.50 ~ No.52、ニュータウン半世紀   |
| 大阪府立狭山池博物館       | 中世狭山池の水下世界  |
| 大阪大学             | 志学台考古第 12 号、文化財研究第 12 号   |
| 府立上津島住宅遺跡調査団     | 上津島南遺跡  |
| 兵庫県              |   |
| 兵庫県教育委員会         | 兵庫県の台場・砲台   |
| 神戸市教育委員会         | 明治期における和田岬砲台、東洋園地と居留外国人、平氏と神戸の遺跡、神戸市埋蔵文化財分布図、北青木銅鐸、兵庫津遺跡第 53 次発掘調査報告書、平成 21 年度 神戸市埋蔵文化財年報   |
| 伊丹市教育委員会         | 有岡城跡発掘調査報告書 XVI   |
| 尼崎市教育委員会         | 尼崎市埋蔵文化財遺跡分布地図及び手引き - 平成 24 年版 - 、尼崎市内遺跡 発掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成 18 年度  |
| 姫路市立城郭研究室        | 城郭研究年報 vol.21 ~ vol.22  |
| 川西市教育委員会         | 平成 22 年度川西市発掘調査報告   |
| 高砂市教育委員会         | 阿弥陀古墳群 II   |
| 太子町教育委員会         | 平成 23 年度埋蔵文化財調査年報   |
| 佐用町教育委員会         | 昭和 62 年度埋蔵文化財調査年報、平成 22 年度埋蔵文化財調査年報   |
| 多可町教育委員会         | 安坂・津ぶら遺跡、安坂・門田遺跡 II 、清水・寺山谷遺跡・曾我井・沢田遺跡 II 、茂利・宮の西遺跡 II  |
| 神戸市立博物館          | 研究紀要第 28 号  |
| 赤穂市立歴史博物館        | 描かれた赤穂義士  |
| 兵庫県立考古博物館        | 上工山古墳群、内高山古墳群、伊勢貝遺跡、東沢 1 号墳、捕磨・長越遺跡 III 、市之郷遺跡 IV 、曾我井・堂ノ元遺跡 曾我井・野入遺跡 曾我井・沢田遺跡、平成 21 年度埋蔵文化財調査年報、神出窓跡群 II 、西林寺跡、室津四丁目遺跡、横尾・   |

|  |   |
|--|---|
| <p>(公財) 兵庫県まちづくり技術センター<br/>播磨町郷土資料館<br/>大手前大学史学研究所<br/>奈良県<br/>奈良国立文化財研究所<br/>桜井市立埋蔵文化財センター</p>                              | <p>宮ノ前遺跡、堂本上長塚遺跡、三田城跡Ⅰ、七日市遺跡(IV)、福住構造跡、竹万山田遺跡、宮ノ後遺跡、札ノ辻遺跡、貴志・下所遺跡、大藪遺跡、鳥居遺跡、加都遺跡Ⅲ、坂元遺跡Ⅳ・溝之口遺跡Ⅱ、馬木遺跡、東古佐遺跡発掘調査報告書、池ノ下遺跡、兵庫県立考古博物館NEWS vol.10<br/>ひょうごの遺跡第83号～第84号<br/>船棺23<br/>尼塚古墳</p>  |
| <p>大和高田市教育委員会<br/>宇陀市教育委員会<br/>田原本町教育委員会<br/>広陵町教育委員会<br/>(財) 元興寺文化財研究所</p>  | <p>埋蔵文化財ニュース No.146、No.148～No.149<br/>50cm下の桜井、平成22年度国庫補助による発掘調査報告書、桜井市内埋蔵文化財2002年度発掘調査報告書6、史跡郷土古墳群 鶴向石塚古墳、阿部氏～桜井の古代氏族～、土器からのメッセージ、桜井市内埋蔵文化財2003年度発掘調査報告書4<br/>藤森東遺跡1次、かん山古墳4次調査、かん山古墳2、3次調査、柿の内東遺跡1次 背原西遺跡1次 川西根成柿遺跡1次 発掘調査報告書<br/>宇陀市内董跡発掘調査概要報告書 2010年度<br/>村を守る・乱世の考古学・</p>   |
| <p>帝塚山大学考古学研究所<br/>天理大学附属天理参考館<br/>奈良大学文学部文化財学科<br/>天理大学考古学・民俗学研究室<br/>和歌山県<br/>(公財) 和歌山県文化スポーツ振興財団<br/>(公財) 和歌山県文化財センター</p> | <p>新木山古墳 第3次範囲確認調査報告<br/>大庭原京右京北三条五坊、平安京左京五条一坊二町(壬生寺境内)、南曾我遺跡、元興寺コレクションⅢ～金工品とガゴゼ伝承～、極楽行きのタイムカプセル・火葬骨蔵器の世界～、元興寺文化財研究所研究報告2011<br/>帝塚山大学考古学研究所研究報告XIV<br/>台湾平埔族・生活文化の記憶、天理参考館報第25号<br/>文化財学報 第三十集<br/>古事 第16冊</p>   |
| <p>有田川町教育委員会<br/>鳥取県<br/>(財) 鳥取県教育文化財団<br/>(財) 米子市教育文化事業団<br/>(財) 鳥取市文化財団<br/>鳥取県埋蔵文化財センター</p>                               | <p>太田・黒田遺跡第59次発掘調査報告書<br/>地宝のひびき・和歌山県内文化財調査報告会・發表要旨集、秋月遺跡(県第9次調査)、神野々I遺跡・中瓶降遺跡・西坂降II遺跡、加陀寺前経塚・大谷遺跡・重行遺跡、北山魔寺、北山三鷹遺跡・藤並地区遺跡、坂田遺跡発掘調査報告書、財団法人和歌山県文化財センター年報2010、粉河守遺跡、県指定史跡水軒堤防・公益財團法人和歌山県文化財センター年報2011、和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基全事業に係る埋蔵文化財調査資料整理概報、根来寺遺跡・福田下遺跡・道成寺・公園シンボジウム 農耕社会成立期の木工・立野遺跡を考える・資料集旧吉備中学校校庭遺跡第6次発掘調査、旧吉備中学校校庭遺跡第5次発掘調査、藤並地区遺跡・平成23年度有田川町埋蔵文化財調査年報、明忠上人の足跡をたずねて</p> |
| <p>倉吉市教育委員会</p>  | <p>坂長武寿羅遺跡・坂長第8遺跡2、宮谷26号墳、坂長ブジラ遺跡・坂長尻田平遺跡、高住平田遺跡I<br/>平成22・23年度米子市内遺跡発掘調査報告書、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第1号、除田第3遺跡、小野第2遺跡、埋蔵文化財調査年報13<br/>文化財ニュースレター 第4号、松原1号墓、古海古墳群、秋里遺跡、大佛遺跡<br/>青谷上寺地遺跡12、青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告8 木製農工具・漁撈具、青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2011、調査研究紀要4、青谷上寺地遺跡フォーラム2012 海を渡った鏡と鉄～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～<br/>権現平遺跡発掘調査報告書、東前遺跡・茅林遺跡発掘調査報告書、伯耆国有跡国跡発掘調査報告書(第12次～第14次)</p>              |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 岩美町教育委員会          | 岩美町内遺跡発掘調査報告書確<br>上峰寺 16号墳、上野遺跡Ⅱ・奈免羅・西の前遺跡Ⅳ   |
| 八頭町教育委員会          |   |
| 島根県               |   |
| 島根県埋蔵文化財調査センター    | 埋蔵文化財調査センター年報 20、下澤遺跡、門遺跡 高原遺跡1区 中尾H遺跡、<br>栗目I遺跡 栗目II遺跡、背沢遺跡、史跡出雲國府跡・8-、埋蔵文化財調査セ<br>ンター年報 21、西川津遺跡・古屋敷II遺跡  |
| 島根県古代文化センター       | 古代出雲における青銅器文化の研究、松江市 嘉吉古墳発掘調査報告書（附 古<br>曾志大塚古墳群、平廻古墳）   |
| (財) 松江市教育文化振興事業団  | 王子古墳遺跡発掘調査報告書、野塚遺跡発掘調査報告書、ニトリ松江店新築工事<br>に伴う石屋遺跡発掘調査報告書、城山北公園線都市計画道路事業に伴う松江城<br>下町遺跡発掘調査報告書1、スモト遺跡、埋蔵文化財調査年報（15）平成22年度、<br>アルファステイム衣町Ⅱ新築工事に伴う松江城下町遺跡（母衣町100外）発<br>掘調査報告書、山代沖田遺跡、埋蔵文化財調査年報（16）平成23年度、松江赤十<br>字病院別棟建設に伴う松江城下町遺跡（母衣町127・2）（母衣町128）発掘調査<br>報告書 |
| 益田市教育委員会          | 沖手遺跡・久城東遺跡、龍光遺跡、丸子山遺跡、丸山遺跡、中小路遺跡・羽場遺跡、<br>河成遺跡  |
| 浜田市教育委員会          | 島根県浜田市遺跡地図IV（弥栄自治区）・浜田城下町遺跡試掘調査   |
| 出雲市役所             | 出雲弥生の森博物館研究紀要第2集、平成23年度出雲市文化財調査報告書、聖<br>谷奥I遺跡   |
| 津和野町教育委員会         | 牧ヶ野遺跡、津和野夷筋往還・升峰石丁場跡、津和野町内遺跡発掘調査報告書<br>5、ツウノウ城跡、丸山遺跡、大蔵遺跡第3・5次発掘調査報告書、大蔵遺跡第3・<br>5次発掘調査報告書、史跡津和野城跡保存管理計画書   |
| 島根県立八雲立つ風上記の丘資料館  | 八雲立つ風十記の丘 No.208～No.212   |
| 岡山県               |   |
| 岡山県古代吉備文化財センター    | 所報吉備第52号～第54号、史跡 鬼城山2、ここまで分かった鬼ノ城、宮原遺<br>跡 奈良井古墳 奈良井遺跡、特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡   |
| 津山弥生の里文化財センター     | 津山弥生の里第19号、津山城だより No.16、津山城宮川門跡石垣保存修理事業<br>案報告書、津山市指定重要文化財八出天満宮本殿保存修理事業報告書  |
| 岡山市埋蔵文化財センター      | 岡山市埋蔵文化財センター年報11、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第4号、<br>南古市場遺跡、南方（後楽館）遺跡   |
| 井原市文化財センター        | 井原市文化財センター「古代まほろば館」年報3  |
| 岡山県教育委員会          | 埋蔵文化財関係統計資料、岡山県埋蔵文化財報告42、おかやまの古墳めぐり<br>医王山東嶽窟跡群発掘調査報告書  |
| 備前市教育委員会          | 大飛島の遺跡と砂洲   |
| 笠岡市教育委員会          |   |
| 総社市教育委員会          | 総社市埋蔵文化財調査年報21（平成22年度）  |
| 赤磐市教育委員会          | 向山宮岡遺跡 丸田遺跡 中屋遺跡の大量出土説  |
| 岡山県立博物館           | 邪馬台国時代・吉野ヶ里から唐古・鏡、縱向まで。   |
| 津山郷土博物館           | 津山松平臺町奉行日記 二十、津博 No.71～No.74、平成22年度津山郷土博物館<br>年報、平成23年度津山郷土博物館年報、江戸時代の地図づくり・回絵図作成事<br>業と津山藩。  |
| (財) 倉敷考古館         | 倉敷考古館研究集報第21号   |
| 倉敷市立自然史博物館        | 倉敷市立自然史博物館報21（平成23年度）～20（平成22年度）、岡山県の外<br>来生物   |
| 岡山県立美術館           | 美術館ニュース No.97～No.100  |
| 岡山市デジタルミュージアム     | 岡山びと 第6号  |
| 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター | 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報No.48～No.49、岡山大学埋蔵文化財<br>調査研究センター紀要2011、鹿田遺跡7   |
| 岡山理科大学 国書館        | 自然科学研究所研究報告第37号   |
| 岡山理科大学 地理・考古学研究室  | 岡山の「災害」を科学する、佐山新池窯跡群第2・3次発掘調査概報、岡山の「災   |

|  |  |
|--|--|
| 岡山市立オリエント美術館<br>倉敷市文書館（アーカイブス）研究会<br>岡山県遺跡保護調査団事務局<br>高梁川流域連盟<br><b>広島県</b><br>(財) 東広島市教育文化振興事業団<br><br>(財) 広島県教育事業団 | 「吉」を科学する<br>岡山市立オリエント美術館研究紀要 26<br>倉敷の歴史・倉敷市史紀要 第22号<br>調査団ニュース 40号<br>高梁川 70<br><br>阿岐のまほろば vol.42 ~ vol.45、西東子遺跡発掘調査報告書、御建遺跡発掘調査報告書Ⅱ、山居遺跡発掘調査報告書、高屋うめの辺1号・2号遺跡発掘調査報告書、中組遺跡発掘調査報告書<br>年報7 ~ 9、平成22年度ひろしまの遺跡を語る 古代の東アジアとひろしま 記録集、ひろしまの遺跡第107号～第108号、常磐原遺跡、平成23年度ひろしまの遺跡を語る 古代の東アジアとひろしま 記録集、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(26)、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(29)、廿日市町屋跡<br>平成22年度広島県内遺跡発掘調査(詳細分布調査)報告書<br>南山遺跡<br>福山市内遺跡発掘調査概要VI<br>庄原市文化財ガイドブック・史跡・名勝・天然記念物編・、庄原市文化財だより<br>広島県立歴史博物館ニュース第91号～第92号<br>帝釈峠遺跡群発掘調査室年報XXVI<br>広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第3号、シンポジウム安芸地方の中世を探る<br><br><b>山口県</b> |
| 山口県埋蔵文化財センター<br>下関市教育委員会<br>下関市立考古博物館<br>土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム<br>山口大学埋蔵文化財資料館  | 陶けん第25号、萩原遺跡・古大里遺跡、西土生遺跡、中恋路遺跡<br>和久1号古墳<br>研究紀要第16号、下関市立考古博物館年報17、やまと王権と地方豪族<br>研究紀要第7号<br>見島ジーコンボ古墳群 第151号墳出土資料調査報告、山口大学埋蔵文化財資料館年報・平成20年度・   |
| <b>徳島県</b><br>(公財) 徳島県埋蔵文化財センター<br>徳島県教育委員会<br><b>香川県</b><br>香川県埋蔵文化財センター  | 真朱第10号<br>渋野遺跡<br><br>古からのメッセージ 第3部～第5部、西末期遺跡Ⅲ、多肥平塚遺跡、東坂元秋常遺跡Ⅱ、研究紀要Ⅶ、香川県埋蔵文化財センター年報 平成23年度、讃岐国府跡探査事業調査報告 平成23・24年度、旧練兵場遺跡Ⅲ<br>埋蔵文化財試掘調査報告書XIV、香川県文化財年報 平成22年度<br>高松城跡(大手前地区域内中学校跡地)、龜井戸跡、高松市内遺跡発掘調査既報・平成23年度国庫補助事業・、高松城跡(天守台)、史跡高松城跡鞆橋修理工事報告書、奥の坊遺跡群X、横内東遺跡、林宗高遺跡、空港跡地遺跡(本村地区)、条理跡、北山浦遺跡<br>丸亀市内遺跡発掘調査報告書第6集<br>寺田遺跡発掘調査報告書<br>吉吾古墳・西久保谷遺跡・宮山窓跡・吉吉かわらの里展示館 年報1<br>讃岐通路道 しろみね道 調査報告書、香川県「歴史の道」整備活用総合計画報告書第2集<br>宗戸泉谷遺跡<br>香川県立ミュージアムニュース vol.17～vol.20、根来寺調査報告書、ミュージアム調査研究報告第4号   |
| 丸亀市教育委員会<br>さぬき市教育委員会<br>三豊市教育委員会<br>香川県政策部<br><br>綾川町教育委員会<br>香川県立ミュージアム<br><br><b>愛媛県</b><br>(公財) 愛媛県埋蔵文化財センター     | 愛比売 平成23年度年報、本郷遺跡2次 喜来遺跡、国分才寄遺跡、西山奥谷遺  |

|                     |   |
|---------------------|---|
| (公財) 松山市文化・スポーツ振興財團 | 跡 2 次、石手村前遺跡 2 次・3 次、本郷遺跡 3 次 滝の宮遺跡・北井門遺跡 2 次調査、上分西遺跡 上分西乘安地区<br>古川遺跡、福角 2 号墳 水塚古墳 御座所櫛現山古墳、米住町遺跡 8 次調査 米住町遺跡 12 次調査 久米庭田森元遺跡 4 次調査、石井・津穴の遺跡 II、松山市埋蔵文化財調査年報 24   |
| 今治市教育委員会            | 国史跡妙見山 1 号墳・五十嵐大株遺跡・波方養老遺跡・松木 2 号遺跡・第 3 次調査・、市内遺跡試掘確認調査報告書 (平成 22 年度 市公共事業に伴う調査)、市内遺跡試掘確認調査報告書 (平成 22 年度 個人開発に伴う調査)、史跡 鳥島城跡平成 22・23 年度部 II (第 2・3 次) 調査報告書、阿方頭王 I 遺跡・阿方頭王 II 遺跡・、阿方瀧宮 II 遺跡・阿方大池内 I 遺跡・高地シゴ I 遺<br>中世等寺町～寺院創立の謎に迫る～、史跡の災害と保存整備・「水」と「桙生」への対処と克服。 |
| 鬼北町教育委員会            | 愛媛大学埋蔵文化財調査室  |
| 高知県                 | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| (公財) 高知県文化財団        | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 高知県教育委員会            | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 南国市教育委員会            | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 高知市教育委員会            | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 高知県立歴史民俗資料館         | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 高知大学人文学部考古学研究室      | 高知県埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 福岡県                 | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 福岡市埋蔵文化財センター        | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 小郡市埋蔵文化財調査センター      | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 久留米市埋蔵文化財センター       | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| (財) 北九州市芸術文化振興財團    | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |
| 福岡市教育委員会            | 福岡市埋蔵文化財センターワークショップ 2010 年度・  |

|                |   |
|----------------|---|
| 北九州市教育委員会      | 発掘調査報告書 3<br>小倉城二ノ丸家老屋敷跡 2、有毛太郎坊山遺跡第 2 地点、長野 A 遺跡（Ⅸ・X 区の調査）   |
| 大野城市教育委員会      | 史跡牛頭須恵器窯跡保存管理計画書、大野市の文化財 第 44 集 国指定史跡 牛頭須恵器窯跡、金山遺跡 1、乙金地区遺跡群 4、小田浦遺跡群 2、乙金地区遺跡群 5、御笠の森遺跡 4、谷川遺跡 II                                |
| 春日市教育委員会       | 先ノ原遺跡   |
| 春日市教育委員会       | 柚ノ木 A 遺跡 2、川久保 B 遺跡 2、須次岡本遺跡 5、堂岡遺跡   |
| 豊前市教育委員会       | 史跡 求善提山 安淨寺 杉谷參道、塔田琵琶田遺跡  |
| うきは市教育委員会      | 若宮外屋敷遺跡 2、仁右衛門畠遺跡、若宮遺跡 2、若宮遺跡 3、三春大碇遺跡 3、生糸北遺跡  |
| 朝倉市教育委員会       | 旧三奈木黒田家庭園、朝倉市文化財年報（平成 22 年度）、桑原屋敷遺跡、黒川院 II  |
| 筑前町教育委員会       | 四三鶴向原遺跡、金葺原遺跡、ヒルハタ遺跡、久間遺跡、宝楽遺跡、上林占墳、炭焼遺跡、口ヶ坪遺跡、曾根田前田遺跡  |
| 北九州市立自然史・歴史博物館 | 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 9 号   |
| 九州歴史資料館        | 九州歴史資料館研究論集 39、九歴だより No.35 ~ No.36、九州歴史資料館年報・平成 23 年度・  |
| 柏原町立歴史資料館      | 江辻遺跡第 9 地点、上大隈小浜遺跡  |
| 佐賀県            |   |
| 佐賀市教育委員会       | 石塚 1 号墳、徳永遺跡群 X XI 、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書・2009 年度・、白石原遺跡 I  |
| 唐津市教育委員会       | 唐津市内遺跡確認調査（28）  |
| 神埼市教育委員会       | 市内遺跡確認調査概要報告書 IV 、上志波屋七ノ坪遺跡   |
| 長崎県            |   |
| 長崎市教育委員会       | 興善町遺跡、国指定史跡シーボルト宅跡環境整備事業報告書、興善町遺跡、深堀遺跡、金屋町遺跡、万才町遺跡、銅座町遺跡  |
| 雲仙市教育委員会       | 末来に残す郷土の遺跡、鍋島郡の発掘調査、鍋島陣壁跡、小ヶ倉 A 遺跡  |
| 熊本県            |   |
| 宇土市教育委員会       | 宇土城跡（西岡台） X I   |
| 大分県            |   |
| 大分市教育委員会       | 鶴崎御茶屋遺跡、下郡遺跡群 II 、横尾遺跡 5、大分市埋蔵文化財調査概要報告 2011 、丹生川坂ノ木条里跡、米竹遺跡 第 7 次調査、木広遺跡 2、府内城跡、城下町跡 8、大道条理跡 第 1 次調査、大道遺跡群 5、米竹遺跡 第 6 次調査、羽田遺跡 3 |
| 中津市教育委員会       | 中津城下町遺跡 新魚町地区、沖代地区条理跡 大塚西中野地区 永添玉追地区 高畑下ノ町地区 佐知遺跡 ほか  |
| 宇佐市教育委員会       | 恒松遺跡、安心院地区 隆盛群発掘調査概報、安心院地区 隆盛群発掘調査概報、安心院地区 隆盛群発掘調査概報 II 、市内遺跡発掘調査概報 20 、別府遺跡群 1   |
| 宮崎県            |   |
| 宮崎県埋蔵文化財センター   | 宮崎県埋蔵文化財センター年報第 16 号、陣ノ口遺跡  |
| 日南市教育委員会       | 平成 23 年度 日南市内遺跡発掘調査概報   |
| 宮崎市教育委員会       | 清武上猪ノ原遺跡第 4 地区、官崎市内遺跡発掘調査報告書、高岡剪遺跡第 28・31・32 地点、生目古墳群 II  |
| 都城市教育委員会       | 都城市内遺跡 5、王子原遺跡（第 4 次調査）、王子山遺跡、都城市内遺跡 6、国指定史跡 大島田遺跡、松平遺跡   |
| 鹿児島県           |   |
| 鹿児島県立埋蔵文化財センター | 埋文だより第 58 号～第 60 号  |
| 鹿児島大学埋蔵文化財調査室  | 鹿児島大学構内遺跡 桜ヶ丘団地 F・G・10 区（中央機械棟）   |

|                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| <b>その他</b>         |                                    |
| 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 | 公立埋文協会報第 48 号～第 49 号、埋蔵文化財関係統計資料   |
| 全国埋蔵文化財法人連絡協議会     | 全国埋文協会報 No.81 ～ No.82              |
| 文化環境研究所            | カルチベイト No.39 ～ No.40、文環研レポート第 32 号 |
| NPO 法人まちづくり推進機構岡山  | だれもが楽しめる文化施設                       |
| 宗教法人 八出天満宮         | 八出天満宮保存修理事業報告書（奉賛会事業編）             |
| 中国四国前方後円墳研究会       | 中西研だより第 30 号、後期埴輪の特質とその地域的展開       |
| (株) 十象舎            | 日本の 100 人 No.006                   |
| (株) イビソク           | 平安京右京五条四坊十五町跡・西京極遺跡                |
| (株) 二友組            | 朝日遺跡第 20 次発掘調査報告書                  |
| (株) 烏田組            | 朝日遺跡                               |

印刷仕様

紙 質 表紙：サンマット 160kg (PP 張り)

本文：ニューエイジ 70kg

折込：上質紙 70kg

D T P Mac OS 10.5.8 Adobe InDesign CS3 Adobe Photoshop CS3

使用フォント モリサワ OpenType フォント

(リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ゴシック B101・

見出ゴシック MB31・じゅん101)

製 本 無線綴じ

## 倉敷埋蔵文化財センター年報14

-平成23・24年度-

平成25年11月30日印刷発行

発行 倉敷市教育委員会

編集 倉敷埋蔵文化財センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940番地

Tel 086-454-0600

The Annual Report  
Of  
Kurashiki Archaeological Center

---

Volume14 2011・2012



Kurashiki  
Archaeological Center

---

November 2013